

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		機材整備につき、機材の供与を要請したもの。							
3	国立森林研究所設立計画	林産業を発達させるため効果的な調査、研究を実施するための研究所の建設、機材の供与。	63. 1. 11	19. 29	61	基本設計(事)	62. 2. 24~62. 3. 9	3	3, 412
					62	" (本)	62. 7. 18~62. 8. 10	7	} 32, 316
					"	" (報)	62. 10. 28~62. 11. 8	4	
4	医療機材整備計画	国内各州の病院、ヘルスセンター等への各種医療機材の供与。	62. 4. 14	5. 24	61	基本設計(本)	61. 11. 30~61. 12. 24	6	21, 593
5	ポートモレスビー総合病院 改修計画	医療の中心的役割を担うポートモレスビー総合病院の老朽化した諸施設、機材の改修・拡充整備を実施し、同国の医療水準の改善を図る。	63. 11. 3	13	62	基本設計(事)	63. 2. 22~63. 3. 5	5	9, 786
			元 6. 27	19. 23	63	" (本)	63. 5. 23~63. 6. 15	10	} 48, 273
					"	" (報)	63. 8. 22~63. 9. 3	4	
6	消防機材整備計画	パプア・ニューギニアの都市部では、近年同国の経済成長に伴い、高層建築物や大型工場の建設が進み、人口集中過密化の弊害を生じている。一方、都市防災機能については、未整備であり、消防に関しては、高層建築物への放水能力に乏しく、また過密化した地域での機動能力も欠いた状況にある。このため同国政府は、「消防機材整備計画」を策定し、この計画の実施に必要な機材の供与を要請したもの。	63. 8. 25	4. 13	62				1, 015
					63	実施促進	63. 9. 16~63. 10. 1	(3)	3, 061
7	地方病院改修計画 (フェーズI, II)	(フェーズI) 同国の地方医療の改善を目的として、3カ所(ラエ、マウントハーゲン、ウエワック)の病院の改修に必要な資金を供与する計画。 (フェーズII) パプア・ニューギニアの地方医療の改善を	2. 7. 3	17. 84	元	基本設計(本)	元 8. 26~元 10. 4	8	} 49, 288
			3. 7. 29	2. 77	"	" (報)	2. 2. 7~2. 2. 16	4	
			3. 7. 29	15. 57	2	実施促進	2. 11. 11~2. 11. 15	1	} 22, 970
					"	基本設計(本)	3. 1. 19~3. 2. 27	8	
					3	基本設計(報)	3. 6. 17~3. 6. 29	4	30, 834

パプア・ニューギニア

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		目的として、7ヵ所(クンディアワ・ワバグ・ゲレマ・ダル・マダング・パニモ・ラバウル)の病院の改修を行う計画							
8	その他海外事務所執行分				2				725
9	ガルフ州浅海漁業開発計画	ガルフ州は首都ポートモレスビーの北西部に位置し人口約6.4万人を有する。州内には見るべき産業もなく多くの人々が仕事を求めて他州に移住している。同州が面するパプア湾水域は広大な陸棚、河口湿地帯の汽水域等に豊富な漁業資源を有し開発ポテンシャルは極めて高いが、漁業が未発達で大部分が自給自足で行われているのみである。このため同国政府は漁業支援設備を整備するため本計画を策定した。	2. 2.22	1.93					

パ
プ
ア
・
ニ
ュ
ー
ギ
ニア

(開発協力方式技術協力)

開発基礎調査

No.	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	マダン地域森林造成開 発事業	昭和49年ジェクコット天然資源大臣訪日の際、マダン地域の森林造成の実施について、わが国に対して正式協力要請があった。 この要請に応え、昭和50年7月、基礎調査団が派遣され、パプア・ニューギニア政府と森林造成に関する施策、本地域の森林造成事業についての構想、森林造成事業の実行体制について意見交換するとともに、森林造成事業の基本構想を策定した。 昭和51年4月には、開発計画調査団を派遣し、ポートモレスビーにおいてパプア	50	開発基礎調査	50. 7. 16~50. 8. 19	6	14,270
			51	開発計画調査	51. 4. 19~51. 5. 22	11	26,627
			51	計画打合	52. 2. 24~52. 3. 10	4	3,020

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		<p>・ニューギニア政府との意見交換。マダンほかにおいて現地調査を行った。前回調査の報告内容をパプア・ニューギニア政府関係者および現地関係者に報告し、あわせて提起された諸問題について意見交換を行うとともに、事業予定地について造林樹種の選定、土壌調査、林道開設計画作成など技術的な調査を行い、事業規模と事業内容、実行体制および資金需要等、具体的な計画の策定を行った。</p> <p>開発計画の概要は、20,000haの造林可能地のうち、まず6年間で5,000haの造林を進めることとし、その担い手としてパプア・ニューギニア政府と現地住民とのJANT社（日本企業出資のチップ生産現地法人）が造林のための新会社を設立するというものである。</p>					
2	ホスキンス森林造成開発計画	<p>パプア・ニューギニア国ニューブリテン島ホスキンス地区における森林造成の可能性について造林技術の観点からの調査、インフラの整備状況、投資環境等の調査を行うもの。</p> <p>昭和55年度はニューブリテン島ホスキンスにおいて、昭和55年11月20日から12月18日まで6名の調査団を派遣し、空中調査、現地踏査を実施した。</p>	54	基礎二次調査	54.10.23~54.11.13	8	11,196
			55		(同上報告書作成)		433
			"	開発計画調査	55.11.20~55.12.14	6	11,013
3	ソロモン地域油糧作物開発協力	<p>近年、石けん、洗剤、界面活性剤の原料である石油化学製品の値上りは著しい。同じく、伝統的な主要原料であるココナッツも国際市場では量、価格とも浮き沈みが激しく日本への供給を不安定にしており、わが国の油脂製造業界にとってもココナッツの対日供給の安定化を図ることが焦眉の急となっている。このような背景のもとに、本件はソロモン地域における油糧作物とくにココナッツの開発協力の可能性（民間投資の可能性を含め）を検討するための調査を行うものである。</p>	54	基礎一次調査	55.3.3~55.3.23	7	6,113
			55		(報告書作成)		468
4	サゴヤシ開発協力	<p>本調査は、石油代替エネルギー原料として注目を集めているサゴヤシの開発事業の可能性につき調査検討を行うもの。</p> <p>昭和55年度は、賦存状況、利用状況、将来の利用計画及び栽培の可能性を調査した。</p>	55	基礎一次調査	55.10.6~55.10.21	6	6,882
			56		(報告書作成)		265
5	ニューアイルランド林業開発協力	<p>本調査は、ニューアイルランド島中央部の森林について、未利用樹開発、造林等に関する開発基本構想を策定するものである。</p>	55	基礎二次調査	55.6.29~55.7.18	5	6,883

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		昭和55年度は、試験施設建設予定地、試験造林予定地を調査し、開発の条件を検討した。					
6	アニアカピウラ林業開発協力	本調査は、同地域の森林開発についてその開発基本構想を策定するものである。昭和55年度は、森林資源の賦存状況、関連施設の整備、未利用樹開発等について調査を行った。	55	基礎二次調査	55. 10. 30～55. 11. 20	6	12,782
			56		(報告書作成)		568
7	オープンベイ森林造成計画	本調査は、ニューブリテン島オープンベイ地区での試験造林の可能性を調査するとともに事業計画を策定することを目的とするもの。昭和56年度は、目的における造林の現状を調査し、当該地区での土壌調査、植生調査等を実施した。	56	基礎二次調査	56. 7. 2～56. 7. 22	7	12,487
8	ニューアイルランド島カカオ栽培開発協力	本調査は、ニューアイルランド島東南端のグンフウ地区におけるわが国民間の森林伐採事業の跡地におけるカカオ・プランテーション事業の可能性および試験栽培地の候補地選定等を行うものである。昭和56年度は、ニューアイルランド島における農業開発事業の投資環境、候補地の自然、経済、立地条件、カカオ生産・流通に係る概況調査を行った。	56	基礎二次調査	56. 10. 15～56. 11. 1	6	7,035
			57	"	(報告書作成)		423
9	ニューブリテン島南部林業開発	ニューブリテン島南部地域の森林資源は開発の可能性が高いにもかかわらず、道路・港湾等のインフラ施設が未整備なため、これまで未開発のまま残されている。本調査は当該地区での開発の諸条件を調査し、開発の基本構想を策定することを目的とするものである。昭和56年度は森林資源・造林および未利用樹の開発可能性等を調査するとともに、道路・橋梁・港湾等インフラ施設の開発要件を調査した。	56	基礎二次調査	57. 3. 28～57. 4. 15	6	9,585
			57	"	(国内作業)		4,597
10	農業開発協力	PNGの農業はプランテーション農業と自給自足農業の両極分化構造を呈している。同国の経済発展にとって農業開発は最重要事項であり、民間ベースにより農業開発投資の可能性を探ることを目的としてPNG農業の現状、技術水準、開発対象作物事業並びに自然的、社会経済的諸条件について調査を行った。その結果、開発対象作物である野菜、畜産ともに国内市場が未熟であり、当面民間による開発投資の可能性はうすいと判断された。	57	基礎一次調査	58. 2. 25～58. 3. 11	5	5,401
			58	"	(報告書作成)		362

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
11	クロムウェル林業開発	<p>昭和58年度は、クロムウェル地区の森林資源、関連インフラに関する既存の資料・情報等を整理・分析するとともに、対象地区の踏査を行い、次回調査に必要な基礎資料を収集し、森林開発事業の可能性の検討を行った。</p> <p>その結果、森林資源は豊富で開発の可能性は高いが、関連インフラの整備に多額の経費が見込まれることから、今後、技術的、経済的な問題点について検討する必要があるとの結論に至った。</p> <p>昭和59年度には、クロムウェル地区の正確な森林資源の把握を行い、企業としての事業化可能性を明らかにするため、森林資源及び森林開発にかかる道路、港湾等のインフラ整備について調査を実施した。また、森林開発の基本計画、道路、港湾の建設計画を策定した。</p>	58	基礎一次調査	59. 3. 20～59. 3. 31	5	6,346
			59	基礎二次調査	59. 9. 17～59. 10. 18	8	41,944
12	オープンベイ林業開発	<p>オープンベイ地域において、森林造成の可能性と、関連インフラ整備等の事業構想を明らかにするため、試験的造林地の立地条件等を調査するとともに、道路及び橋梁のインフラ施設の開発要件の調査を実施した。また、試験的造林計画、道路、橋梁建設計画を策定した。</p>	59	基礎二次調査	60. 3. 7～60. 3. 23	7	9,320
			60	基礎二次調査	(国内作業)		8,411
13	パプア・ニューギニア林業試験及び関連施設整備事業地域開発効果等評価調査	<p>(株)日商岩井は西ニューブリテン州において、パプア・ニューギニア政府のニューブリテン島縦断道路の建設計画に呼応して、事業団から1979年より2回にわたって、公共道路と橋梁の改修・建設のために、1,051.8百万円の融資を受けた(ホスキンス・ピロミ及びカピウラ関連施設整備事業)。また、82年より801haの造林試験事業(融資額293百万円)を実施している。</p> <p>今回、本事業が当該地域の発展に及ぼした影響を測定評価した結果、関連施設は地域経済の振興、社会活動の便宜に寄与していること、環境配慮も十分になされていることが明らかになった。</p>	2	地域開発効果等評価調査	2. 11. 17～2. 12. 6	6	13,723
14	アジア大洋州地域林業開発協力基礎一次調査(マダン山岳地試験的オープンベイ林業開発)	<p>マレーシア、タイ、パプア・ニューギニアの3ヵ国にて複層林実証調査の可能性に係る自然的・社会的条件を調査するとともに、相手国政府の意向を確認した。</p> <p>(タイ、マレーシア、パプア・ニューギニア)</p>	2	基礎一次調査	2. 10. 9～2. 10. 30	(6)	2,681

投融資審査等調査

パプア・ニューギニア

No.	プロジェクト名	概 要			年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	投融資審査等調査	調査対象プロジェクト			50	投融資審査等調査	50. 8. 1~50. 8. 17	3	2,732
		プロジェクト名	資金名	対象事業内容					
		(1) マダン試験造林事業	試験造林資金	ユーカリ類の試験造林					
		(2) オープンベイ 林業開発事業	関連施設整備資金	道路、学校、診療所等 の建設					
2	林業開発事業投融資審査等調査	① パプア・ニューギニア、マダン地区における試験的造林事業に対する融資事業調査			52	投融資審査等調査	53. 2. 21~53. 3. 6	3	2,399
		② パプア・ニューギニア、ニューアイルランド地区における関連施設整備事業に対する融資前調査。			53		(同上報告書作成)		153
3	林業投融資審査等調査	① オープンベイ地区林業開発事業に係る関連施設整備事業に対する融資後調査			53	投融資審査等調査	54. 3. 13~54. 3. 27	3	2,474
		② ホスキンス・カピウラ両地区の林業開発事業に係る関連施設整備事業に対する融資前調査。			54		(同上報告書作成)		169
					〃				9
4	パプア・ニューギニア・フィリピン投融資審査等調査	(フィリピン、パプア・ニューギニア) 世界一般を参照のこと。			56	投融資審査等調査	56. 10. 22~56. 11. 5	(4)	(1,691)
5	林業投融資審査等調査	ニューアイルランド林業開発事業およびオープンベイ林業開発事業に係る融資後調査。			57	投融資審査等調査	57. 7. 22~57. 8. 8	4	4,502
6	林業投融資審査等調査	ホスキンス試験的造林事業に関する融資前調査。			58	投融資審査等調査	59. 2. 11~59. 2. 24	4	4,505
7	アニア関連施設整備事業	パプア・ニューギニア 西ニューブリテン州アニア地区の林業開発にかかる道路、橋梁等関連施設の整備に関する融資前調査。			60	投融資審査等調査	60. 5. 27~60. 6. 10	4	5,042
8	ホスキンス試験的造林事業投融資調査	マダン山岳地試験的造林事業及びホスキンス試験的造林事業にかかる融資中調査。			63	投融資審査等調査	63. 10. 27~63. 11. 6	(2)	961
9	マダン山岳地試験的造林事業投融資調査	マダン山岳地試験的造林事業及びホスキンス試験的造林事業にかかる融資中調査。			63	投融資審査等調査	63. 10. 27~63. 11. 6	(2)	960

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
	林事業						
10	太平洋地域(フィジー・PNG) 投融資審査等調査		63	投融資審査等調査	元. 3. 26~元. 3. 31	(5)	1,978
11	投融資審査等調査	パプア・ニューギニア 東ニューブリテン州オープンベイにおける試験的造林事業に係る案件形成調査。	元	投融資審査等調査	元. 6. 26~元. 7. 9	1	1,117
12	林業案件投融資審査等調査	マダン州におけるパルプ用チップ生産のための試験造林事業に係る融資中調査。	2	投融資審査等調査	3. 2. 23~3. 3. 2	2	1,218
13	パプア・ニューギニア 投融資審査等調査	マダン山岳地試験的造林事業及びホスキンス試験的造林事業に係る融資中調査。	3	投融資審査等調査	3. 9. 27~3. 10. 9	5	4,121

開発協力技術指導

専門家派遣

プロジェクト名	年度	人数	派遣期間	経費実績(千円)	技術指導内容
オープンベイ林業開発	50	2	51. 3. 26~51. 4. 24	1,096	
マダン試験的造林事業	56	2	57. 4. 9~57. 4. 24	1,821	造林
マダン試験的造林事業	57		(過年度精算)	1,365	
マダン試験的造林事業	58	2	58. 8. 4~58. 9. 1	6,192	カメレ等、熱帯早生樹種について ①収獲予想表作成手法 ②既往造林事業の技術的評価 ③今後の造林事業運営の3点に関する技術指導
ブルマ試験的造林事業	58	2	58. 10. 11~58. 11. 13	6,322	既往造林地の生育状況、土壌等の

プロジェクト名	年度	人数	派遣期間	経費実績(千円)	技術指導内容
					調査、造林適地の判定、保育、保護等管理技術についての検討、およびラワン代替材生産に当たりの総合的、技術的な指導
マダン試験的造林事業	60	1	61. 3. 1~61. 3. 27	} 2,562	昆虫学
	60	1	61. 3. 1~61. 3. 27		森林生態

研修員受入

研修科目	年度	人数	研修期間	研修場所	経費実績(千円)
林業開発現地従事者リーダー養成	50	1	50. 8. 30~50. 10. 28	(社) 日本林業技術協会	780
林業開発現地従事者リーダー養成	51	1	51. 8. 28~51. 10. 26	(社) 日本林業技術協会	1,679
林業開発現地従事者リーダー養成	54	2	55. 3. 18~55. 5. 16	(社) 日本林業技術協会	} 3,463
林業開発現地従事者リーダー養成コース (重機械操作)	55	2	55. 10. 23~56. 12. 4	(社) 日本林業技術協会	
目立て(製材)	56	1	56. 8. 15~56. 12. 4	}	6,956
林道設計・建設	56	1	56. 8. 15~56. 10. 9		
機械修理	56	1	56. 9. 9~56. 12. 3		
ニューアイルランド未利用樹開発	55				3,756
原木・製材品の品質管理	57	1	57. 6. 24~57. 8. 9	}	6,564
製材機械修理整備	"	1	57. 6. 24~57. 8. 24		
林業機械修理整備	"	1	57. 8. 15~57. 11. 15		
苗畑造林技術 (ホスキンスピロミ林業開発)	58	1	58. 6. 2~58. 7. 17	(社) 海外農業開発協会	} 13,212
車輛、重機、製材機の修理(")	"	2	58. 8. 18~58. 11. 8	日産ディーゼル(株) キャタピラー三菱(株)	
林道建設技術 (")	"	1	58. 9. 1~58. 10. 18	(社) 海外農業開発協会	

研 修 科 目	年 度	人 数	研 修 期 間	研 修 場 所	経費実績 (千円)
車輛、重機の修理 (マダニ試験造林)	58	2	58. 7. 7~58. 8. 21	日野自動車(株)、小松製作所(株)	}
林業技術一般 (")	"	1	58. 9. 1~58. 10. 18	(社) 海外農業開発協会	
車輛整備 (")	59	1	59. 7. 16~59. 8. 31	農林水産省林業試験場	}
機械修理 (")	"	1	59. 7. 16~59. 8. 31	"	
林道建設 (")	"	1	59. 7. 16~59. 8. 31	"	
林道 (カピウラ林業開発事業)	60	2	60. 8. 5~60. 9. 30	海外農業開発協会	}
大型車輛 (")	"	1	60. 9. 2~60. 11. 4	"	
ジェネレーター (")	"	1	60. 9. 2~60. 11. 4	"	
造林 (ホスキンス試験的造林事業)	"	1	60. 8. 26~60. 10. 7	"	
伐採搬出 (マダニ試験的造林事業)	"	1	60. 8. 5~60. 9. 30	"	
車輛整備 (")	"	1	60. 8. 12~60. 9. 30	"	
林道建設	61	1	61. 8. 1~61. 10. 3	海外農業開発協会	}
品質検査	"	1	61. 8. 1~61. 10. 3	"	
機械修理	"	1	61. 10. 31~61. 12. 19	"	
造林	"	1	61. 8. 15~61. 9. 26	"	}
電気技術	"	1	61. 8. 15~61. 9. 26	"	
伐採搬出	62	1	62. 8. 14~62. 10. 9		}
植林	"	1	62. 8. 14~62. 10. 9		
機械修理	"	1	62. 8. 14~62. 10. 9		
林業経営	"	1	62. 8. 28~62. 9. 25		}
生産管理	"	1	62. 8. 28~62. 9. 25		
林業経営	63	1	63. 9. 4~63. 10. 5		}
車輛整備	"	1	63. 9. 4~63. 10. 5		
品質管理	"	1	63. 8. 12~63. 10. 5		}
機械修理	"	1	63. 8. 12~63. 10. 5		
機材搬立技術	"	1	63. 8. 12~63. 10. 5		

パプア・ニューギニア

研 修 科 目	年 度	人 数	研 修 期 間	研 修 場 所	経費実績(千円)
造林	元	1	元. 6. 25~元. 8. 24	}	7,044
機械修理	"	1	元. 6. 25~元. 8. 24		
造林	"	1	元. 9. 3~元. 10. 14	}	5,077
林業経営	"	1	元. 9. 3~元. 10. 14		
林業一般	"	1	元. 9. 17~元. 11. 18	}	10,584
造林	"	1	元. 9. 17~元. 11. 18		
機械修理	"	1	元. 9. 17~元. 11. 18		
造材・搬出	2	1	2. 9. 6~2. 10. 27	}	10,385
電気技術	"	1	2. 9. 6~2. 10. 27		
マネージメント	"	2	2. 9. 6~2. 10. 27		
造林, 運搬車輛修理	3	2	3. 9. 29~3. 11. 30	}	6,817
集材機械修理	"	1	3. 9. 15~3. 11. 30		
集材, 造林, 機械修理	"	3	3. 9. 29~3. 11. 30		

〔開発投融资〕

融資承諾 年月	事 業 名	事 業 地	対 象 事 業	貸付条件・承諾額・契約額				貸付実行額		備 考	
				金 利 (%)	返済期間 (内据置年)	承諾額 (百万円)	契約年月	契約額 (百万円)	年 度		実行額 (百万円)
46. 12. 2	マダン林業開発事業	パプア・ニューギ ニア本島	道路, ふ頭	0.75	10(3)	200	47. 3. 30	200	(海外買)	200	
47. 7. 19	マダン林業開発事業	パプア・ニューギ ニア本島	道路, ふ頭	0.75	10(3)	400	48. 1. 10	400	(海外買)	400	
50. 3. 28	マダン試験造林事業	パプア・ニューギ ニア本島	試験造林200ha	0.75	20(5)	97.8	50. 9. 30 51. 7. 15	66 15.9	50 51	66 15.9	
47. 5. 9	パームオイル開発事業		栈橋	0.75		186	47. 6. 30	186	(海外買)	186	
49. 7. 10	パームオイル開発事業		栈橋	0.75	11(4)	327	49. 7. 29	327	(海外買)	100	

融資承諾 年月	事業名	事業地	対象事業	貸付条件・承諾額・契約額					貸付実行額		備考
				金利 (%)	返済期間 ()内振置年	承諾額 (百万円)	契約年月	契約額 (百万円)	年度	実行額 (百万円)	
48. 3. 19	オープンベイ林業開発事業	ニューブリテン島 オープンベイ地区	道路, 簡易飛行場	0.75	14(3)	377.4	48. 7. 16	377.4	(海外貸)	334	
									49	43.4	
51. 2. 23	オープンベイ林業開発事業	ニューブリテン島 オープンベイ地区	診療所, 警察署, 公民館, 小学校, 通信施設, 消防署, マーケット, 道路	0.75	14(4)	217.8	51. 3. 16	217.8	50	107.5	
									51	110.3	
52. 9. 13	マダン試験造林事業	ゴゴール	試験造林5,000ha	2.5	18(10)	329	53. 3. 10	154	52	102	
									54	38.345	
							55. 4. 1	85	55	85	
							56. 9. 21	90	56	90	
54. 1. 5	ニューアイルランド林業開発事業	ニューアイルランド島	年間 168千㎡の家具用原木の生産, 製材加工	0.75	15(5)	198.4	54. 3. 30	25.9	53	25.9	
									54	44.8	
									55	60	
54. 12. 28	ホスキンスピロミ林業開発事業	ニューブリテン島	ピロミ林区7,200haの生産・加工用 公共道路, 村道, 橋梁	0.75	10(5)	420	55. 1. 29	271	54	271	
							56. 1. 26	48.7	55	48.7	
							56. 6. 29	85.3	56	85.3	
							57. 4. 23	15	57	15	
55. 7. 16	オープンベイ林業開発事業	ニューブリテン島 オープンベイ地区	公共道路等の建設工事, 国道, 州道, 橋梁	0.75	14(3)	678	55. 7. 31	439.6	55	439.6	
							56. 7. 21	125.6	56	125.6	
							57. 6. 25	112.8	57	112.8	
57. 2. 9	ブルマ試験造林事業	ニューブリテン島	チーク, エリマ, カメレレ, 土地条件, 植付密度, 適性樹種選定試験	0.75	20(5)	293	57. 2. 25	114.6	56	114.6	
							57. 11. 2	132.2	57	132.2	
							58. 9. 28	46.2	58	46.2	

パプア・ニューギニア

バブア・ニューギニア

融資承諾 年月	事業名	事業地	対象事業	貸付条件・承諾額・契約額					貸付実行額		備考
				金利 (%)	返済期間 ()内償還年	承諾額 (百万円)	契約年月	契約額 (百万円)	年度	実行額 (百万円)	
58. 6. 24	カピウラ林業開発事業	西ニューブリテン 州	国道、橋梁	0.75	10(5)	631.8	58. 6. 27	346.3	58	346.3	
							59. 4. 25	285.5	59	285.5	
59. 1. 13	マダン(山岳地)試験的造林 事業	マダン地区	山岳地試験的造林事業 (カメレレ、メリナ、 アカシア等)	0.75	18(10)	630.3	59. 3. 9	81.2	58	73.5	
							60. 2. 23	35.3	59	35.3	
							60. 10. 14	53	60	53	
59. 8. 30	ホスキンスピロミ林業開発事 業	西ニューブリテン 州	試験的造林事業 (カメレレ、エリマ、 ターミナリアチーク)	2.50	25(5)	961.1	60. 2. 28	118.9	59	84	
										60	

[災害援助等協力事業]

専門家派遣

年度	災 害 名	期 間	人 数	経 費 実 績 (千円)
61	救済システム等実態調査	61. 6. 11~61. 6. 22	(5)	1,238

ソロモン諸島

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研 修 員		76,054	45	30,594	19	7,984	9	26,215	16	24,142	18	34,022	19	47,373	25	246,384	151
専 門 家		24,936	(1) 7	21,376	13	18,633	2	24,755	2	21,729	1	15,910	2	84,536	4	211,875	(1) 31
調 査 団		254,176	92	34,738	13	397		53,130	15	50,199	22	109,935	17	48,404	17	550,979	176
協 力 隊		117,782	18	55,694	10	74,108	13	115,594	13	126,092	15	147,803	18	203,204	16	840,277	103
機 材 供 与		62,114		12,912		22,402		72,202		10,567		6,854		14,817		201,868	
そ の 他		13,918		4,288		417		566				499		377		20,065	
合 計		548,980	(1) 162	159,602	55	123,941	24	292,462	46	232,729	56	315,023	56	398,711	62	2,071,448	(1) 461

ソロモン諸島

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱工業		エ ン ー ル ギ		商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ン ー ル ギ 1	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員	151	3	9		24	3	28		3	6	17		6			3	1	32	2	9	5		246,384
専 門 家	(1) 31				2	2					5	(1)								22			211,875
調 査 団	176	14			37		23	5		10	38	15								27		7	550,979
協 力 隊	103	2	20		1	2		6	1		8		18					14	4	27			840,277
機 材 供 与																							201,868
そ の 他																							20,065
合 計	(1) 461	19	29		64	7	51	11	4	16	68	(1) 15	24			3	1	46	6	85	5	7	2,071,448

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

ソロモン諸島

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
53年度	2						2															1,674
54 "	1																1					2,972
55 "	6						3			2	1											13,819
56 "	5				1		2				1		1									10,615
57 "	4				1		1			1			1									5,668
58 "	7		1		3		3															8,543
59 "	9		1		3		1			1	2									1		18,066
60 "	11		1		2		3			2	2								1			14,697
61 "	19		3		6	2	4			1	1		1		1							30,594
62 "	9	1					3		1	1	1					1			1			7,984
63 "	9	1	1		1		1				1				1				1	2		12,626
元 "	9	1	1		1		2				1								3			9,403
2 "	12				3		1				3		1				2			2		22,806
3 "	18		1		3	1	2				4		2		1	1			3			35,072
合計	121	3	9		24	3	28			3	6	17		6		3	1	2	2	9	5	194,539

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
50年度	(1)											(1)										
51 "																						
52 "																						
53 "	2				2																	2,165
54 "																						567
55 "	1										1											7,821
56 "																						8,688
57 "																						4,559
58 "																						
59 "																						
60 "																						
61 "	2					2																1,513
62 "																						
63 "																						307
元 "	1										1											11,678
2 "	1										1											15,439
3 "	2										2											75,043
合計	(1)9				2	2					5	(1)										127,780

ソロモン諸島

(注) カッコは国際機関専門家を外数である。

青年海外協力隊派遣事業

ソロモン諸島	分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
	53年度																						2,941
	54 "	2								2													5,469
	55 "																						11,202
	56 "	1												1									5,682
	57 "	3										1		2									14,733
	58 "	4	1									1		2									37,522
	59 "	2		1															1				30,470
	60 "	6		2										2							2		39,442
	61 "	10	1	2								1		3					2		1		60,861
	62 "	13		2			1					2		1					1	1	5		79,321
	63 "	13		2								2		3							6		127,150
	元 "	15		3			1			1				2					3	1	4		135,558
	2 "	18		4			1			3		1		1					3	1	4		155,654
	3 "	16		4							1			1					5		5		214,230
	合計	103	2	20			1	2		6	1		8		18				14	4	27		920,235

青年招へい事業

年度 \ 分野	人的資源	その他	合計(人数)	経費実績 (千円)
59年度				
60 "				
61 "				
62 "				397
63 "	7		7	14,422
元 "	9		9	15,434
2 "	7		7	11,216
3 "	7		7	12,965

ソロモン諸島

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

ソロモン諸島	No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機 材 供 与 経 費 (千円)
	1	漁業訓練機材	集団コース	55	4,433
	2	沿岸漁業普及用機材	集団コース	56	2,196
	3	漁業調査用機材	天然資源省	62	13,650
	4	小規模開墾用機材	マライタ州政府	63	27,300
	5	医療用機材	ソロモン中央病院	63	30,980
計	5	件			78,559

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)		
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)	
							継続	新規					
プライマリーヘルスケア推進プロジェクト (The Project for Promotion of Primary Health Care) R/D等署名日： 3. 4. 11 協力期間： 3. 9. 1 ~ 8. 8. 31 所在地：マリアア研修研究センター（ホニアラ）	(要請の背景) ソロモン諸島においては、感染症を中心とした各種疾患により、多くの国民の健康が損なわれている。 「ソ」政府は、同国の重要政策のひとつとして、またWHO等の国際機関やオーストラリア等の二国間による援助を受けながら、これに対する対策に取り組んでいる。 しかしながら、同国においては技術・人材及び資金が著しく不足していること、また、多数の島々により構成された国家であることなどから、保健医療水準を大きく向上させ得ない状況にある。このよ	元	事前調査	2. 4. 4~ 2. 4. 17	7	5,416			11,509		1,269	18,194	
			実施協議	3. 4. 6~ 3. 4. 17	6	5,822			843				6,665
		3				3,289		6	12,482			1,362	17,133

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)			
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人 数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)		
							継続	新規						
先方関係機関：保健省 (Ministry of Health) 自治省 (Ministry of Provincial Government) 我が方協力機関：厚生省、文部省	<p>うな背景から、「ソ」政府は、平成元年我が国に対し、公衆衛生分野の開発の目的として、プロジェクト方式による技術協力を要請した。</p> <p>(目的・内容)</p> <p>プライマリーヘルスケアのアプローチにより①ヘルスシステムの強化②人的資源の強化③健康教育を通じて、コミュニティーレベルでの国民の健康増進を図る。</p> <p>具体的には感染症のうち、マラリア、結核、B型肝炎をとりあげる。</p> <p>(現状・目標達成)</p> <p>本格的協力を開始すべく平成3年9月に沖縄県を中心とした国内委員会を設置した。調整員及び結核対策の長期専門家を派遣中であり、平成4年4月には4名からなる専門家チーム、6月には結核対策2名の短期専門家をそれぞれ派遣した。</p> <p>[カウンターパート受入実績]</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>年度</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> </tr> </table>	年度	3	人数	2									
年度	3													
人数	2													

保健医療協力事業（単発専門家）

ソロモン諸島

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
マラリア対策協力計画		60					4	4,871			4,871	
		62					3	18,633		2,736	21,369	
		63				86	2	24,448			24,534	
環境衛生医療行政	(ソロモン諸島、フィジー、トンガ、フィリピン) 世界一般を参照のこと。	55					(4)	(797)			(797)	
		56						(45)			(45)	
南太平洋農林水産業協 カプロジェクトファイ ンディング	(フィジー、マーシャル群島、ミクロネシア、パプア・ニューギニア、ソロモン諸島) オセアニア一般を参照のこと。	57	事前調査	57.11.13~ 57.11.28	(3)	(1,019)					(1,019)	
昆虫学		61				70		2,905		691	3,666	
感染症対策協力		63				433					433	

(開発調査方式技術協力)

開発調査事業

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)	
1	経済協力調査	ソロモン諸島に対する日本の経済技術協力実施のために、同島の経済事情、開発計画等全般的な調査を実施するとともに、同島の特性等に基づき、主に漁業、電気通信分野に於ける協力の方向を得るため調査を実施した。	52	事前調査	53. 2. 22~53. 3. 2	4	2,553	
			53	事前調査	(報告書作成)		816	
2	電気通信網建設計画調査	ソロモン諸島は東西 800kmにおよぶ広範な海域に散在する多数の島からなっており、電気通信の整備は著しく立ち遅れている。このため同国においては、首都ホニアラ（ガダルカナル島）を中心に国内電気通信幹線網の整備を計画し、わが国に対し協力要請した。昭和53年度はこれに基づき、S/W協議および資料収集のための事前調査を実施するとともに、国内26カ所を結ぶ最適伝送ルートおよびシステム選定のための現地調査を実施した。 昭和54年度は上記現地調査にもとづき、F/Sドラフトファイナルレポート作成	53	事前調査	53. 8. 22~53. 9. 17	6	9,092	
				”	実施調査	54. 1. 23~54. 3. 13	12	35,612
			54	報告書説明	55. 2. 16~55. 2. 26	5	10,398	

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		およびソロモン諸島政府との説明協議を経たのち、F/S調査報告書を作成し、先方政府へ送付した。					
3	漁業センター建設計画調査	ソロモン国は漁業振興にとくに力を入れており、わが国にこれの無償資金協力援助を要請してきた。このため日本政府は漁業訓練用船舶、冷蔵運搬船、訓練機材について無償資金協力をもって応えることとし、これに必要な現地調査を実施するとともに、報告書を取りまとめた。	53	特	55. 5. 31～53. 6. 12	5	5, 858
4	漁業振興基本設計調査	同国政府は、まぐろ延縄漁業振興のための調査研究と訓練のため120トン型まぐろ延縄漁業訓練船2隻と漁具等の無償資金協力をわが国に要請した。この要請に基づき、わが国は55年6月に基本設計調査チームを派遣し現地調査を実施するとともに報告書を作成し、同国政府に提出した。	55	特	55. 6. 19～55. 7. 11	6	15, 809
5	漁業振興計画調査	地方漁業振興のための漁業訓練センター建設(8ヶ所)ならびに小型運搬船および島嶼間連絡船の供与に係る基本設計調査を実施した。	56	特	56. 8. 16～56. 9. 2	6	17, 276
			57	〃	57. 10. 31～57. 11. 25	5	15, 857
6	無償案件評価調査	(ソロモン、西サモア、トゥヴァル) オセアニア一般を参照のこと。	57	評価	58. 2. 20～58. 3. 5	(3)	(1, 074)
7	ヘンダーソン国際空港整備計画	同国唯一の国際空港であるヘンダーソン空港の整備計画に係るマスタープランを策定し、短期計画についてフィージビリティ調査を実施するものであり、平成元年度は事前調査を行い、S/Wを締結した。 平成2年度は元年度に締結した実施細則(S/W)に基づき、本格調査に着手し、進捗報告書まで作成した。 平成3年度は2年度に引き続き、本格調査を実施し、最終報告書を相手国政府に提出した。	元	事前調査	2. 3. 21～2. 3. 31	4	2, 932
			2	実施調査	2. 10. 6～3. 3. 24	17	102, 744
			3	〃	3. 8. 20～3. 9. 2	6	42, 546

海外開発計画調査事業

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	テンガノ湖、ポーキサイト開発計画調査	レンネル島北部のテンガノ湖の湖底にあるポーキサイト鉱床の賦存状況の概要を調査し、アルミナ資源としての開発可能性を評価するものである。	55	海(事前)	56. 1. 8～56. 1. 22	3	3, 461
			56	海	56. 10. 18～56. 12. 17	6	33, 196

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
		昭和55年度の事前調査に引き続き、昭和56年度は、音波探査・探泥調査を実施し、 テంగాノ湖湖底堆積物中に賦存するボーキサイト質堆積物の賦存状態の概査と試料 採取を行い、その結果を国内解析して資源としての評価を行った。	56	海	56.12. 7~56.12.14	1	13,050
			57	海(報告)	57. 6.28~57. 7. 8	3	4,489
2	情報処理システム開発 計画	ソロモン国が進めている経済開発5ヵ年計画(1981~1986)に基づき、国家行政 機能の近代化・能率化を図るため、現在行っているデータ処理方式の見直しと、コ ンピュータ導入を含む新たなデータ処理システムの導入の可能性についての調査を 行った。	56	海(予備)	56.11. 8~56.11.18	5	5,792
			58	海(事前)	58. 8. 6~58. 8.18	4	4,034
			"	海	58.11.12~58.12. 4	6	28,866
			59	海(報告)	59. 6.10~59. 6.20	2	8,797

(無償資金協力)

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	島しょ間輸送力増強計画	離島間の輸送力を充実させ、経済、文化の 振興を図るため、貨客船2隻を供与した。	54. 4.11	5	53	基本設計	54. 1. 6~54. 2. 2	5	...
2	漁業センター建設計画	漁業の近代化を目的として、沿岸漁業振興 センター、漁船、冷凍運搬船、漁具、エンジ ン等を供与した。	53. 7. 7	5	53	基本設計	53. 5.31~53. 6.12	5	開発調査
					"	実施促進	54. 1.27~54. 2.13	1	888
3	漁業振興計画	漁業振興、外貨収入を図るため、マグロ漁 業振興に必要な訓練船、漁具類を供与した。	56. 1.26	5	55	基本設計	55. 6.19~55. 7.11	6	開発調査
4	漁村開発計画	沿岸漁業振興のため、漁民の訓練、漁獲物 の輸送増強に必要な漁業訓練センターを建設 (8ヶ所)し、小型漁船車輛等供与した。	57. 2. 9	7	56	基本設計	56. 8.16~56. 9. 2	6	} 開発調査
					57	"	57.10.31~57.11.25	5	
5	漁業訓練計画	ソロモン政府は動力漁船の操船および魚群 探知機等の新しい漁撈機材の操作訓練を首都 ホニアラの漁業訓練学校において実施するこ とを計画し、この訓練に必要な機材の供与に ついてわが国は無償援助を行なった。	59. 3.29	0.90	58	実施促進	59. 2.25~59. 3. 9	(1)	(408)
					59	"	59. 5.10~59. 5.31	(2)	} (1,176)
					"	"	60. 3. 5~60. 3.31	(1)	

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
6	医療用輸送機材整備計画	医療サービスを行うための車輛、ボート等輸送機材を供与した。	61. 3. 5	0.96	60	実施促進	61. 3. 1~61. 3. 9	(1)	(441)
7	案件発掘調査	無償案件を発掘するためソロモン政府との協議、調査を実施した。			60	計画打合	60. 11. 10~60. 11. 19	2	2,036
8	道路建設機材設備計画	ソロモン政府は60年度道路管理に必要な機材不足・老朽化から、我が国に機材の補強を要請していたが、その後、最大規模のサイクロンに見舞われ、道路の大きな被害が発生した。この際、我が国は緊急援助を実施したが、ソロモン政府は、サイクロン被害復旧を目的とする主要国際機関等援助会議において、改めて道路被害の著しいマライタ州の道路修復につき、道路建設機材の整備を我が国に要請したもの。	62. 1. 6	2.059	61	実施促進	62. 3. 22~62. 4. 2	(2)	1,055
			63. 8. 15	4.34	63	"	63. 9. 16~63. 10. 1	(3)	6,441
9	マラリア対策センター建設計画	マラリア撲滅対策の一環として試験、研究対策、活動及び訓練のための施設の建設	62. 1. 6	6.23	61	基本設計(本)	61. 5. 11~61. 5. 25	9	} 32,497
					"	" (報)	61. 9. 16~61. 10. 4	4	
10	ノロ地区漁業基地整備計画	ソロモン政府は、漁業を中核とするニュータウンをノロ地区に形成し、地域産業の振興を図ろうとしており、そのための漁業基盤施設を整備するものである。	元 5. 5	4.36	63	基本設計(本)	63. 11. 6~63. 11. 29	10	} 43,508
			元 6. 28	10.18	"	" (報)	元 2. 12~元 2. 24	5	
			2. 11. 19	3.27					
11	ルンガ橋架替計画	ソロモン政府は、漁業を中核とするニュータウンをノロ地区に形成し、地域産業の振興を図ろうとしており、そのため漁業基盤施設を整備するのに必要な資金供与計画。	2. 11. 19	5.82	元	基本設計(本)	元 6. 25~元 7. 28	6	} 37,810
					"	" (報)	元 9. 27~元 10. 7	4	

ソロモン諸島

〔開発協力方式技術協力〕

投融資審査等調査

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	大洋州投融資審査等調査	(オーストラリア、ソロモン諸島) 投融資制度の説明と案件の発掘を行った。	59	投融資審査等調査	60. 3. 2~60. 3. 12	4	2,214

ソロモン諸島

〔災害援助等協力事業〕

国際緊急援助隊派遣

年度	災害区分	災害発生時期	災害の規模	派遣の目的	派遣期間	チームの構成	救 援 物 資	所要経費 (千円)
61	サイクロン： 洪水、土砂 崩れ、 家屋倒壊	昭和61年5月18日 ～ 5月20日	死者 103人 行方不明者 35人 被災者 9万人	① サイクロンによる 負傷者、病人への救 急医療 ② 被害状況 援助ニ ーズの把握	第一次チーム 5/24~5/31 第二次チーム 5/29~6/12	医師4名、看護婦4名 調整員2名 計10名	医薬品、医療機器	25,128

ト ン ガ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び 人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)														
研 修 員		107,365	48	26,648	11	19,381	10	27,289	13	19,087	(1) 12	34,503	16	30,994	16	265,267	(1) 126
専 門 家		417,685	(2) 26	42,886	4	15,324	4			3,103	2	6,219	1	26,899	6	512,116	(2) 43
調 査 団		179,646	71	8,622	6	22,317	6	12,215	13	64,044	15	43,024	17	11,121	4	340,989	132
協 力 隊		160,691	31	58,697	13	73,191	10	127,317	(1) 15	118,003	15	141,995	10	147,146	13	827,040	(1) 107
機 材 供 与		381,560		80,092		13,570		25,891		6,832		19,153		7,615		534,713	
そ の 他		17,591		2,638		2,084										22,313	
合 計		1,264,538	(2) 176	219,583	34	145,867	30	192,712	(1) 41	211,069	(1) 44	244,894	44	223,775	39	2,502,438	(4) 408

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	(1) 126	1	(1) 24		7	1	13	6	2	1	18		4		4	5	22		16	2		265,267
専 門 家	(2) 43										12	(2)							31			512,116
調 査 団	132		17		21	2					24						21	7	36		4	340,989
協 力 隊	(1) 107	1	2			1	2	4	1	3	18		15				35	18	(1) 7			827,040
機 材 供 与																						534,713
そ の 他																						22,313
合 計	(4) 408	2	(1) 43		28	4	15	10	3	4	72	(2)	19		4	5	78	25	(1) 90	2	4	2,502,438

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

ト ン ガ	分野	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
49年度		2									1						1						4,431
50 "		1									1												3,346
51 "		2		1							1												4,195
52 "		3		1							1						1						7,141
53 "		3		1							1		1										9,864
54 "		3		1							2												7,538
55 "		4		3							1												7,436
56 "		1		1																			1,130
57 "		1																			1		1,396
58 "		7		2						2											3		13,178
59 "		11		4			1			2			1								3		23,321
60 "		10							1	1			2		3						3		24,389
61 "		11					2	1	1		1		1								4		26,648
62 "		10	1	2			1			1	2		1			1	1						19,381
63 "		6		1						1						1					2		16,017
元 "		(1)7		(1)1					2	1	1		1			1							10,898
2 "		11		2			1			2	1		1			1	1					2	23,859
3 "		11		4			2			1			3				1						21,848
合 計		(1)104	1	(1)24			7	1	13	6	2	1	18		4		4	5			16	2	226,016

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
29～47年度																						2,613
48 "	1										1											2,625
49 "																						7,004
50 "																						9,246
51 "	(1)											(1)										17,101
52 "	1										1											24,974
53 "																						23,207
54 "																						15,468
55 "	1										1											24,539
56 "																						24,723
57 "	2										2											22,846
58 "	(1)											(1)										29,828
59 "																						35,502
60 "																						27,947
61 "																						16,343
62 "																						8,687
63 "																						
元 "																						44
合計	(2)5										5	(2)										292,697

(注) カッコは国際機関専門家を外数である。

青年海外協力隊派遣事業

ト ン ガ	分野	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
47年度		1						1															1,695	
48 "		1										1												3,622
49 "																								3,319
50 "		2										2												8,173
51 "		3										3												35,820
52 "		1												1										12,316
53 "		2										1		1										13,949
54 "																								8,578
55 "		3										3												12,815
56 "		2										1		1										15,857
57 "		3										1							2					14,534
58 "		4												2					2					31,261
59 "		4	1											1					1	1				24,877
60 "		5												2					1	1				35,172
61 "		13									1								6	1	2			64,744
62 "		10		1				1				1							5	1	1			81,736
63 "		(1)15							1	1	1			2					4	5	(1)1			128,769
元 "		15		1				1		1				3					6	1				123,083
2 "		10						1				1							3	4	1			150,521
3 "		13										1							5	4	2			150,193
合計		(1)107	1	2				1	2	4	1	3	18		15				35	18	(1)7			921,034

(注) カッコは国際機関協力隊で外数である。

青年招へい事業

年度	分野	人的資源	その他	合計(人数)	経費実績 (千円)
59年度					
60 "					
61 "					
62 "					397
63 "		7		7	11,382
元 "		5		5	8,189
2 "		5		5	10,644
3 "		5		5	9,400

ト
ン
ガ

[一般の技術協力に係る機材供与]

単独機材供与事業

ト ン ガ	No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機 材 供 与 経 費
					(千円)
	1	漁業関係機材	農林省水産局	50	7,716
	2	漁業訓練機材 (FPR船)	農林省水産局	53	2,886
	3	木造船建設機材	農林省水産局	54	11,464
	4	漁業訓練用機材	集団コース	55	4,433
	5	漁業訓練用機材	農林省水産局	56	52,141
	6	沿岸漁業普及用機材	集団コース	56	3,100
	7	学校教育周辺用機材	文部省	57	7,951
	8	養殖用機材	養殖センター	59	4,044
	9	漁業訓練船用スペアパーツ	水産局	60	30,364
	10	理科教育機材	文部省	60	10,200
	11	理数科教育用機材	文部省	61	10,850
	12	環境汚染監視装置	土地測量天然資源省	61	2,220
	13	教育関連用機材	文部省教育局	63	25,194
	計	13 件			172,563

[プロジェクト方式技術協力]

保健医療協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
日本/WHO合同保健 衛生検査所 Japan-WHO Joint Technical Cooperation Project in the	WHOは、PHC部門における途上国 援助に関し、従来より先進諸国との協力を 呼びかけて来ており、わが国に対して も種々のアプローチがあった。これに対 しわが国は、昭和56年3月に日本・WH O、合同プロジェクトファインディング	56	事前調査	56. 8. 14~ 56. 8. 29	4	3,818		1	745		} 11,792	
		"	実施協議	56. 12. 7~ 56. 12. 18	5	3,668						
		"	実施設計	57. 3. 29~ 57. 4. 7	5	3,561						
		57				② 6,021 5,556	1	4	26,377	② 2,113 38,683	78,750	

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)		
							継続	新規					
Kingdom of Tonga, Health Laboratory 協定等の種類：R/D 署名年月日：56.12.15 協力期間： (当初) 56.12.15～61.12.14 相手国受入機関 トンガ王国保健省	調査団をフィジー、トンガ、ソロモンの3ヶ国に派遣し、調査した結果、トンガの中央保健衛生検査所拡充案件が日本/WHO合同技術協力プロジェクトとして最も実現の可能性のあることが判明した。同案件が日本/WHO合同技術協力の対象として可能かつ妥当なものであるか否かを調査するため、日本WHO合同事前調査団が昭和56年8月にトンガに派遣された。その後、昭和56年12月に実施協議チームを派遣し、日本・トンガ間でR/Dの署名を行うと共に、WHO側からは中嶋事務局長が参加の上、日本WHO間で覚書に署名が行われ、本件合同協力が開始されることとなった。 本件プロジェクトはトンガ王国の疫病対策、環境衛生対策に寄与するため、同国の中央保健衛生検査機能の強化拡充を行うというものである。 本プロジェクトはWHOと協力して(マルチ・パイ方式)上記目的達成の為に、次の事業を実施する。 1) バイオラ病院検査室の拡充、整備を図るためプロジェクト基盤整備事業に	58	計画打合	58. 6. 13～ 58. 6. 26	4	Ⓔ 222 5. 185	3	12	86,527		Ⓔ 3,134 43,508	138,576	
		59	巡回指導	59. 9. 9～ 59. 9. 19	5	Ⓔ 587 4,611	2	4	38,916		Ⓔ 13,569 34,430		96,165
		60	機材修理 (報告書作成)	60. 2. 2～ 60. 2. 13	4	4,052							
		61	エバリュエーション	61. 10. 14～ 61. 10. 25	6	6,222			1	27,987		52,783	86,992
		62				1,319			4	2,794		5,767	9,880
		元	アフターケア	元 10. 4～ 元 10. 15	3	2,530			3	3,059		666	6,255
		2				120			1	298	輸送費、薬品顕微鏡用写真撮影装置	11,948	12,366

トンガ

ト
ン
ガ

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)											
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人 数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)										
							継続	新規														
	<p>より検査所の増設を行った。(59年12月完成)</p> <p>2) 環境衛生・食品検査部門, 結核部門, その他の微生物学部門, 血液学部門, 臨床化学部門, 細胞診断部門, その他の分野の充実を図るため, WHOと協力しつつ, 専門家派遣, 研修員受入, 機材供与を行う。</p> <p>[カウンターパート受入実績]</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>57</td> <td>58</td> <td>59</td> <td>60</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </table>	年度	57	58	59	60	61	人数	1	3	3	2	3									
年度	57	58	59	60	61																	
人数	1	3	3	2	3																	

保健医療協力事業 (単発専門家)

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人 数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
環境衛生医療行政	(ソロモン, フィジー, トンガ, フィリピン) 世界一般を参照のこと。	55					(4)	(797)			(797)	
		56						(45)			(45)	
感染症対策		62						3,896			3,896	

保健医療協力事業（特別機材供与）

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
バイオラン病院		59				◎ 36			X線装置	6,520	6,556	

トンガ

農林水産協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)			
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)		
							継続	新規						
トンガ水産増養殖研究 開発計画 (Aquaculture Research & Development Project) R/D等署名日： 3. 8. 7 協力期間： 3. 10. 1 ～8. 9. 30（5年 間） 所在地：首都ヌクアロ ファ 先方関係機関：水産省 (Ministry of Fisheries) 我が方協力機関：農林 水産省、水産庁 琉球大学 沖縄県水産試験場八	（要請の背景） 国民の重要な動物蛋白の供給源となっ ているリーフ（珊瑚礁）内漁業資源の資 源管理および維持増大を図るため、無償 資金協力で建設された水産研究センター を拠点としたプロ技協を平成3年2月要 請してきた。 （目的・内容） 有用魚貝類の種苗生産から中間養成に 至る増養殖技術、資源調査・管理技術の 移転を行なう。また水産研究センター施 設の改修により研究活動の一層の発展を 図る。 （現状・目標達成） 平成3年10月に長期専門家2名、平成 4年1月に長期専門家3名を派遣し、本 格的な協力活動に入った。平成4年6月 には計画打ち合せ調査団を派遣した。ま た平成4年12月には応急対策費による工	2	事前調査	3. 3. 11～ 3. 3. 23	7	5,662		1	5,921		11,583			
		3	事前調査	技術費			9,498			6		24,657	5,937	40,092
		"	実施協議	3. 7. 29～ 3. 8. 12	4									

ト ン ガ	プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
				調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
								継続	新規				
	重山支場	事も終了した。											
	太平洋水産業開発基礎 調査	(フィジー、トンガ)	63	基礎調査	元. 4. 3~ 元. 4. 30	(8)	2,190					2,190	
			元				(1,121)					(1,121)	
			2					369					369

(開発調査方式技術協力)

開発調査事業

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	学校建設計画基本設計 調査	トンガ王国は、1870年に教育基本法を制定し、義務教育の法制化を図り、初等教育を行っている教育熱心な国である。昭和54年現在、小学校6年間中学校4年間となっており、小学校126校約2万人、中学生約1万人で小学校卒業生の60~65%が中学入学を希望しており、さらに増える傾向にある。126校のうち84校が国立で残りはモルモン、カトリック経営となっているが教会の学校運営からの撤退に伴い、小学校の建設、増改築が緊急の課題となっている。この現状を打開するためわが国に資金協力の要請をしてきたもので、54年度は基本設計調査を実施した。	54	特	55. 4. 5~55. 4. 27	5	8,506
			55	特			
2	漁業訓練船基本設計調 査	同国産業・天然資源省の漁業訓練船の建造に関する調査を実施し基本設計書を作成した。	55	特	55. 7. 19~55. 8. 11	5	...
3	ババオハイスクール設 立計画	地方教育開発のためババオに建設するハイスクールに係る基本設計調査を実施した。	57	特	57. 12. 4~57. 12. 25	4	14,391
			58	"	(報告書送付)		27
4	手工芸文化資源保存普 及センター建設計画	トンガ文化の保存及び振興のための手工芸の文化資源保存普及センターの建設に係る基本設計調査を実施した。	59	特	59. 7. 15~59. 8. 11	8	} 2,645
			"	"	59. 11. 11~59. 11. 21	5	
			60	"	(国内作業)		14,024
5	経済技術協力評価調査	学識経験者等第三者(岐阜敬治日本経済新聞編集局長)の参加を得て、フィジー、	61	評価調査	61. 11. 16~61. 11. 25	(3)	1,000

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
		トンガ、西サモアにおける経済技術協力案件8件について評価調査を行うとともに、派遣専門家、青年海外協力隊員との意見交換を行うことにより、広く3カ国に対するわが国の経済技術協力に関する有識者からの提言を取りまとめた。 ② トンガ 保護衛生検査所					

〔援助効率促進事業〕

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	プロジェクト形成調査	(キリバス、フィジー、トンガ)	63	プロジェクト形成調査	63. 5. 24~63. 6. 9	(2)	667
2	ヌクアロファ護岸拡充計画	終了時評価	元	案件別評価調査	元. 10. 4~元. 10. 14	2	1,466
3	プロジェクト形成調査	(トンガ、キリバス)水産分野	2	プロジェクト形成調査	2. 10. 29~2. 11. 10	(5)	2,255

〔無償資金協力〕

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	小学校建設計画	教育振興のためHOUMAおよびCOLO NGAに小学校を建設した。	55. 10. 31	2	54	基本設計	55. 4. 5~55. 4. 27	5	開発調査
					55	実施促進	55. 10. 27~55. 11. 9	(2)	(719)
					60				1,450
2	漁業振興計画	トンガ国の主要産業は、漁業、熱帯農業であるが、貿易収支は慢性的赤字であり、経済発展を図るには、輸出産業とりわけ漁業の振興に力を注ぎ、国際収支の赤字を縮小させる	56. 2. 6	4.50	55	基本設計	55. 7. 19~55. 8. 11		開発調査

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		とともに国内の雇用促進を図る必要がある。 漁業についてはと収益性が高いマグロ漁業を 対象としているが、対応可能な幹部乗務員は 極めて少なく、これらの養成を図る必要があ る。このため訓練船を寄与した。							
3	零細漁業振興計画	トンガ国政府は第4次5ヶ年計画(80~85 年)で漁業の振興、開発を図り、食糧給を目 指しており、これに必要な漁船用エンジン、 漁群探知機等機材の供与についてわが国は無 償援助を行なった。	57. 10. 20	2	57	実施促進	57. 11. 2~57. 11. 16	(2)	(646)
4	ババオハイスクール建設計 画	トンガ政府は伝統社会を守りながら均衡の とれた地域開発を目指し国家体制の近代化に 取組んでおり、開発計画推進のネックとなっ ている教育事情の改善のため、ババオに公立 のハイスクールを設立することを計画し、施 設の建設についてわが国は無償援助を行った。	58. 12. 22	6	57	基本設計	57. 12. 4~57. 12. 25	4	開発調査
5	水産物流通計画	漁港振興を図るため各群島における漁業協 同組合を強化するために必要な設備及び資機 材の寄与	61. 3. 25	5. 41	60	基本設計	60. 9. 19~60. 10. 9	4	11, 962
					63	フォローアップ	元. 1. 22~元. 2. 1	3	3, 508
					元	"	2. 1. 8~2. 2. 6	4	24, 332
6	ヌクアロファ護岸拡充計画	サイクロンにより破壊された、首都ヌクア ロファ市の海岸護岸の復旧を図る。	63. 5. 5	2. 90	62	基本設計(本)	62. 10. 30~62. 11. 19	6	19, 806
			63. 11. 10	2. 70					
7	ファアモツ空港ターミナル 施設建設計画	航空輸送改善に寄与するためトンガの表玄 関であるファアモツ空港の国際線ターミナ ルビルを建設するのに必要な資金供与計画。	元. 7. 5	7. 84	63	基本設計(事)	63. 10. 11~63. 10. 23	3	} 4, 459
			2. 7. 18	6. 09	"	"(本)	元. 1. 23~元. 2. 17	7	
					元	"(報)	元. 4. 16~元. 4. 27	5	
8	離島高校施設改善計画	離島における中等教育の量・質を確保し、 教育機会の均等化を図り、地方振興の一助と	3. 7. 18	5. 43	2	基本設計(本)	2. 9. 3~2. 10. 2	6	} 33, 297
					"	"(報)	3. 1. 14~3. 1. 26	3	

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		<p>するために、ババウ島にて高校の増築、エウア島にて高校の新設を行う計画の策定。</p> <p>平成2年度は、本格調査団、報告書説明調査団を派遣するとともに最終報告書を送付した。</p>							
9	手工業・文化資源保存普及センター建設計画	<p>トンガは、急速な近代化に伴って、貴重な文化遺産の国外離散や伝統的手工芸技術の消滅などの事態が生じている。そこで、同国政府は経済開発の推進と並行して、伝統文化の継承を国家目標の一つに掲げており、その一環として伝統的手工芸の技術の向上を図り、あわせて職業訓練を通じて、トンガの伝統文化を青少年および広く世界に宣伝・普及させることを目的として本計画を策定し、その施設建設と機材の供与を要請したもの。</p>	61. 9.17	5.16					

ト
ン
ガ

トゥヴァル

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

トゥヴァル 形態	年度 及び人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)						
研 修 員		4,253	1	8,483	4	5,719	4	1,541	1	3,492	4	5,514	3	4,703	3	33,705	20
専 門 家		46,064	3							4,828	1	11,954		9,495		72,341	4
調 査 団		79,446				32,419	12	386,467						51		498,383	12
協 力 隊									(1)								(1)
機 材 供 与		23,241										621		1,007		24,869	
そ の 他		915				2,500								891		4,306	
合 計		153,919	4	8,483	4	40,638	16	388,008	(1) ₁	8,320	5	18,089	3	16,147	3	633,604	(1) ₃₆

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

トゥヴァル 形態	分 野 人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	20	1	3		1		3				5				2		4			1		33,705
専 門 家	4										4											72,341
調 査 団	12										12											498,383
協 力 隊	(1)																		(1)			
機 材 供 与																						24,869
そ の 他																						4,306
合 計	(1) ₃₆	1	3		1		3				21				2		4		(1)	1		633,604

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)
		開発 計画 画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人的 資源	科学 ・ 文化				
60年度	1		1																			4,253
61 "	4		1		1						1				1							8,483
62 "	4	1					2								1							5,719
63 "																						
元 "	3										3											1,854
2 "	2										1									1		3,427
3 "	2		1				1															2,874
合計	16	1	3		1		3				5				2					1		26,610

トウワアル

専門家派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)
		開発 計画 画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人的 資源	科学 ・ 文化				
57年度	3										3											32,099
58 "																						12,920
59 "																						3,500
60 "																						
61 "																						
62 "																						
63 "																						

トウワアル

分野	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
元年度	1										1											4,828
2 "																						12,575
3 "																						10,502
合 計	4										4											76,424

青年海外協力隊派遣事業

分野	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
63年度	(1)																			(1)			
合 計	(1)																			(1)			

(注) カッコは国際機関協力隊で外数である。

青年招へい事業

年度	分野	人的資源	その他	合計(人数)	経費実績 (千円)
59年度					
60 "					
61 "					
62 "					
63 "		1		1	1,051
元 "		1		1	1,638
2 "		1		1	2,087
3 "		1		1	1,880

トウヴァアル

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

ト
ウ
ヴ
ア
ル

No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機 材 供 与 経 費 (千円)
1	公共事業推進用機材	公共事業通信省	58	4,888
2	漁業訓練用機材	水産局	59	15,101
計	2 件			19,989

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	無償案件評価調査	(ソロモン、西サモア、トウヴァル) オセアニア一般を参照のこと。	57	評価	58. 2. 20~58. 3. 5	(3)	(1,074)
2	水産資源調査	(フィジー、トウヴァル) フィジー水産資源調査を参照のこと。	60	実施調査	60. 8. 12~61. 4. 5	(9)	(77,531)

資源開発協力基礎調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	南太平洋沿岸海域海洋 資源調査		63	資	63. 8. 26~63. 10. 26	27	386,215

〔無償資金協力〕

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金 額 (億円)	調査 年度	調査種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経 費 実 績 (千円)
1	漁業振興計画	水産振興のため、マグロ・カツオ漁業訓練 船を供与した。	56. 3. 30	4	55	基本設計	55. 7. 19~55. 8. 11	6	…
					56	実施促進	56. 5. 25~56. 6. 4	(2)	(841)
2	トウヴァル漁村開発計画	沿岸漁業近代化のための、資機材及び施設 を整備する。	63. 4. 28	1.58	62	基本設計(本)	62. 10. 26~62. 11. 15	7	} 32,419
			63. 8. 31	1.07	"	" (報)	63. 2. 3~63. 2. 16	5	
			元 7. 20	1.46					

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
			3. 8. 23	3. 96					

ト
ウ
ヴ
ア
ル

ヴァヌアツ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

ヴァヌアツ

形態	27~60		61		62		63		元		2		3		累計	
	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研修員	7,698	8	3,523	7	7,176	8	20,350	13	14,037	7	23,416	10	17,211	10	93,411	63
専門家	2,614	(1) ₂	18,578	3	34,885	4	26,456		26,014	(3)	30,300		24,670		163,517	(4) ₉
調査団	83,348	24	3,622	1	12,723	5	51,394	21	6,637	4	17,532	9	53,731	12	228,987	76
協力隊							27,713	7	31,291	1	66,018	5	52,495	8	177,517	21
機材供与			19,227		6,813		8,526		31,220		7,745		96		73,627	
その他	3,953		662		1,875		566				670				7,726	
合計	97,613	(1) ₃₄	45,612	11	63,472	17	135,005	41	109,199	(3) ₁₂	145,681	24	148,203	30	744,785	(4) ₁₆₉

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

形態	分野	人数 累計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 累計 (千円)	
			開発 計画	行政	公益 事業	運輸 交通	社会 基盤	通信 放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業・ 貿易	観 光	人 的 資 源	科 学・ 文 化					
研修員		63	1	5		5		15		3	3	5				2		24						93,411
専門家		(4) ₉	(1)			2		4					(1)					(2)		3				163,517
調査団		76	2			17		1	1	10	11	11			15	6				1		1		228,987
協力隊		21		5			1	6	1					1		1		4	1	1				177,517
機材供与																								73,627
その他																								7,726
合計		(4) ₁₆₉	(1) ₃	10		24	1	26	2	13	14	16	(1)	1	15	9		(2) ₂₈	1	4	1	1		744,785

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
58年度	2		2																			1,522
59 "	4						2				2											5,268
60 "	2						2															908
61 "	7				3		4															3,523
62 "	8	1					1	3	1	1					1							7,176
63 "	5						3			1					1							8,480
元 "	2		1		1																	5,848
2 "	5		1		1		2			1												12,772
3 "	5		1				1			1	1						1					8,065
合計	40	1	5		5		15		3	3	5				2		1					53,562

ウ・ア・ヌ・ア・ツ

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
56年度	(1)											(1)										
57 "																						
58 "																						
59 "																						
60 "	2						2															2,614

ウ
ア
ヌ
ア
ツ

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
61年度	2				1		1															22,582
62 "	2				1		1															25,612
63 "																						26,456
元 "	(3)	(1)																(2)				33,616
2 "																						35,508
3 "																						24,670
合 計	(4)6	(1)			2		4					(1)						(2)				171,058

(注) カッコは国際機関専門家以外数である。

青年海外協力隊派遣事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
58年度																						1,230
59 "																						
60 "																						
61 "																						862
62 "																						1,016
63 "	7		1				4					1					1					36,904
元 "	1												1									34,479
2 "	5		4														1					66,797

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				飲工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	飲 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
3年度	8					1	2	1									2	1	1			54,949
合計	21		5			1	6	1				1			1		4	1	1			196,327

ウツヌアツ

青年招へい事業

ヴァヌアツ

年度	分野	人的資源	その他	合計(人数)	経費実績 (千円)
59年度					
60 "					
61 "					
62 "					
63 "		8		8	12,338
元 "		5		5	8,623
2 "		5		5	10,644
3 "		5		5	9,400

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機 材 供 与 経 費 (千円)
1	農業普及用機材	農業・水産・林業省	61	8,685
2	災害対策用機材	通信・運輸・公共事業省	元	22,979
計	2 件			31,664

ヴァヌアツ

〔プロジェクト方式技術協力〕

農林水産協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
大洋州水産開発		63	基礎調査	元. 4. 3~ 元. 4. 30	(8)	2,190					2,190	

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	小規模漁業振興計画調査	主要産業である漁業の振興を図るため棧橋およびスリップウェーの建設ならびに製氷機、漁業資機材の供与に係る基本設計調査を実施した。	56	特	56. 12. 7~56. 12. 23	7	18,795
			57	〃	(報告書作成)		25
2	経済技術協力調査	(バプア・ニューギニア、ヴァヌアツ、フィジー) オセアニア一般を参照のこと。	57	事前調査	58. 2. 18~58. 3. 2	(5)	(1,296)
3	地域商業センター建設計画	地域の特色をいかした生産活動の育成、奨励と地域経済の拡大を図るため商業センター(五ヶ所)の建設に係る基本設計調査を実施した。	59	特	59. 10. 26~59. 11. 24	6	26,702
4	南太平洋経済技術協力調査(プロジェクト選定確認)	昭和61年わが国の経済技術協力を効果的に実施するため、これまであまり協力の実績のなかったこれらの国々に対して、わが国の経済技術協力の仕組みを説明するとともに、優良案件の発掘を行い、また先方政府との対話を通じて今後のわが国の協力の方向を探ることを目的とした調査を実施した。 昭和62年環太平洋地域における電気通信分野の協力に関し、南太平洋経済協力機	61	基礎調査	62. 3. 25~62. 4. 11	(5)	985
			62	〃	63. 3. 12~63. 3. 28	(8)	2,454

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		<p>関事務局(SPEC)のSPTDP(南太平洋電気通信開発計画)をもとにSPEC及び関係機関と政策対話を行い、各国の電気通信施設及び開発計画の現状の調査結果を取りまとめ、同地域に対する中期援助指針を作成した。</p> <p>(フィジー、西サモア、キリバス、ヴァヌアツ)</p>					

〔援助効率促進事業〕

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	単独機材供与事業評価調査	(フィジー、ヴァヌアツ)	元	案件別評価調査	2. 4. 3~2. 4. 10	(2)	633

〔無償資金協力〕

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額(億円)	調査年度	調査種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)	
1	漁業開発計画	漁業振興に必要な、水産物冷凍処理施設、棧橋等の建設および機材供与を行なった。	57. 4. 23	2.10	56	基本設計	56. 12. 7~56. 12. 23	7	1,510	
					57	実施促進	57. 5. 21~57. 6. 6	(2)		
					"	"	57. 11. 12~57. 11. 20	1		
2	地域商業センター建設計画	<p>ヴァヌアツ国は、農村地域の開発に努力しているが、国土が多数の島に分かれていることにより、流通・輸送網が未整備で、開発計画を阻害している。こうした状況を打破するため、農産物の集荷、貯蔵、出荷を一環して行い、併せて農業金融業務の機能をも有する地域商業センター(11ヶ所)、埠頭(2ヶ所)、冷蔵庫(2ヶ所)の建設と車輛の供与を行なった。</p>	60. 4. 9	2.70	59	基本設計	59. 10. 26~59. 11. 24	6	開発調査	
			61. 10. 7							3.96
			62. 7. 27							4.14

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
3	村落漁業機材整備計画	村落漁業開発のため流通機構の整備、地方事務所の創設、漁具の改善等のための資機材供与	61. 3. 17	3.93	60	基本設計	60. 9. 25~60. 10. 6	5	18,591
4	農業用地整備計画	昭和62年2月の大型サイクロンはヴァヌアツを襲い、首都ポート・ヴィラをはじめ各地の公共施設、通信網、住宅および農地等に多大な被害を与えた。これに対し、我が国をはじめ主要各国が緊急援助を実施したが、抜本的な災害復旧のための会議で我が国が農地整備に対する協力を約束した経緯から、同国政府は、農地のサイクロン被害復旧を図るべく本計画を策定し、必要な機材の供与を要請したものの。	63. 4. 19	1.50	62				619
					63	実施促進	63. 7. 9~63. 7. 19	1	1,396
5	バウアフィールド国際空港ターミナルビル建設計画	主要産業である観光業の振興・拡充のため、同国の表玄関たるバウアフィールド国際空港のターミナルを拡張し、国内線専用ターミナルを建設する。	元. 7. 26	11.15	62	基本設計(事)	63. 2. 27~63. 3. 12	3	2,962
			2. 7. 29		63	" (本)	63. 6. 12~63. 7. 5	9	39,979
					"	" (報)	63. 9. 8~63. 9. 21	5	
					2	実施促進	3. 3. 17~3. 3. 25	(1)	390
6	サント島サラカタ川水力発電計画	農村地域住民に対する安価な電力供給、水供給の動力源確保等を目的とした、サント島サラカタ川における水力発電計画を策定するものである。 平成2年度は、事前調査団を派遣した。			2	基本設計(事)	2. 12. 9~2. 12. 23	3	6,321
					3	基本設計(本)	3. 4. 22~3. 5. 23	7	50,548
					3	基本設計(報)	3. 8. 25~3. 9. 8	5	

ヴァヌアツ

(開発協力方式技術協力)

開発基礎調査

ヴァヌアツ

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	畜産開発協力事業	肉用牛生産の現状及び技術的問題点を把握し、飼育環境、投資環境等を調査した。	62	基礎二次調査	63. 4. 4~63. 4. 15	6	5,672
			63	基礎二次調査	63. 4. 4~63. 4. 15	6	6,606
2	エスピリットサント試験造林事業開発計画調査	開発候補地における試験的造林事業の可能性に係る自然的、社会的立地条件を調査するとともに、本事業に対するヴァヌアツ政府の意見を聴取した。	2	開発計画調査	3. 2. 24~3. 3. 9	5	9,141

投融資審査等調査

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	牧草・肉牛開発試験事業	エスピリットサント島における牧草・肉牛開発試験事業に関する融資中調査。	元	投融資審査等調査	2. 4. 2~2. 4. 13	4	3,021

(開発投融資)

融資承諾年月	事業名	事業地	対象事業	貸付条件・承諾額・契約額				貸付実行額		備考	
				金利(%)	返済期間(内据置年)	承諾額(百万円)	契約年月	契約額(百万円)	年度		実行額(百万円)
元	牧草・肉牛開発試験事業	エスピリットサント島	牧草・肉牛開発試験	0.75	20(5)	170.0			元		

(災害援助等協力事業)

専門家派遣

年度	災 害 名	期 間	人 数	経 費 実 績(千円)
62	援助国会議	62. 5. 30~62. 6. 6	1	707

国際緊急援助隊派遣

年度	災害区分	災害発生時期	災害の規模	派遣の目的	派遣期間	チームの構成	救 援 物 資	所要経費 (千円)
61	サイクロン； 洪水家屋倒壊	昭和62年2月7日	死者 2名 家屋倒壊 15,000件	①災害状況調査 ②医薬品等の供与	2/10～2/16	調査員 1名 先遣隊 1名 計 2名	浄水器、テント、ラジオ、 医薬品、発電機、食料品	8,313
62	サイクロン	昭和63年1月10日 ～11日	被災者約 1,000人	①被災状況調査 ②援助要請の調査	2/13～2/20	調整員 2名	生活資機材、医薬品	15,379

ウ
ア
ヌ
ア
ツ

西カロリン諸島

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

西カロリン諸島

経費 形態	年度 及び人数	2.7~6.0		6.1		6.2		6.3		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)														
研 修 員			(1)														(1)
専 門 家																	
調 査 団																	
協 力 隊																	
機 材 供 与																	
そ の 他																	
合 計			(1)														(1)

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	(1)							(1)														
専 門 家																						
調 査 団																						
協 力 隊																						
機 材 供 与																						
そ の 他																						
合 計	(1)							(1)														

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (万円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
29～47年度	(1)							(1)														
合計	(1)							(1)														

西カロリン諸島

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

西 サ モ ア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

西 サ モ ア	経 費 及 び 人 数 形 態	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)														
	研 修 員	87,267	(8) 45	22,344	11	20,481	11	37,271	19	32,272	17	52,761	21	28,732	17	281,128	(8) 141
	専 門 家	110,306	(1) 9	7,105	1	15,058	1	19,138		18,777	1	24,218	1	36,519	1	231,121	(1) 14
	調 査 団	141,202	41	80,513	19	50,139	14	28,925	5	39,877	10	52,526	15	30,333	8	423,515	112
	協 力 隊	831,253	127	108,981	(1) 19	157,813	(1) 20	151,041	13	155,941	(1) 19	168,261	8	138,066	10	1,711,356	(3) 216
	機 材 供 与	217,061		27,647		19,615		1,458		21,089		44,067		6,280		337,217	
	そ の 他	10,735		3,300		3,127		566						208		17,936	
	合 計	1,397,824	(9) 222	249,890	(1) 50	266,233	(1) 46	238,399	37	267,956	(1) 47	341,833	45	240,138	36	3,002,273	(12) 483

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

形 態	分 野	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業			農 林 ・ 水 産				鉱工業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業		工 業	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源					科 学 ・ 文 化
	研 修 員	(8) 141	4	(7) 22		11	5	36	5	4	1	7		(1)		4	4	20		9	9		281,128
	専 門 家	(1) 14		1		3			3			3	(1)		1			2			1		231,121
	調 査 団	112	1			73									12			5		15		6	423,515
	協 力 隊	(3) 216	1	10		3	44	(1) 20	14	3		15		(1) 48	4	5		22	3	(1) 22		2	1,711,356
	機 材 供 与																						337,217
	そ の 他																						17,936
	合 計	(12) 483	6	(7) 33		90	49	(1) 56	22	7	1	25	(1)	(2) 48	17	9	4	49	3	(1) 46	10	8	3,002,273

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

(一般の技術協力)

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
43年度	(1)		(1)																			
44 "																						
45 "	(1)		(1)																			
46 "	(2)		(2)																			360
47 "	(2)1		(2)																			2,420
48 "	1																					1,086
49 "	(2)2		(1)										(1)				1					1,927
50 "	5		2														1					9,845
51 "	2		2																			7,337
52 "	3		1																		1	8,191
53 "	4		2																		1	9,286
54 "	4		3																			7,082
55 "	5		3																		1	9,449
56 "																						3,652
57 "	3																				1	4,528
58 "	4		2																			4,842
59 "	6																					10,368
60 "	5	1	1																			6,894
61 "	11		1																		2	22,344
62 "	11	1																				20,481
63 "	15	2	2																			27,397
元 "	12		1																			24,083

西サモア

西サモア

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
2年度	18		1		4	3	2	1									1		3	3		46,501
3 "	12		1		2	1	6	1									1					19,586
合計	(8)124	4	(7)22		11	5	36	5	4	1	7		(1)		4	4	3		9	9		247,659

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
49年度	(1)											(1)										641
50 "																						
51 "																						
52 "	3							3														6,931
53 "																						32,150
54 "																						13,982
55 "	1										1											3,598
56 "																						17,284
57 "	1													1								11,968
58 "																						21,401
59 "																						13,999
60 "	3				2						1											10,178

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
61年度	1										1											7,105
62 "	1		1																			16,211
63 "																						20,596
元 "																						17,758
2 "	1				1																	24,756
3 "	1																1					40,142
合計	(1)12		1		3			3			3	(1)		1			1					258,700

(注) カッコは国際機関専門家で外数である。

青年海外協力隊派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
47年度	4					3					1											3,749
48 "	1					1																13,465
49 "	6					3		1				2										31,551
50 "	3					1						1									1	32,234
51 "	19					1		2			5					1			1			46,907
52 "	8				1	2	1	1	1			1							1			72,473
53 "	4				1	1						1							1			54,905
54 "	13					4		2			3					2			2			59,123

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
55年度	7		1			1	1				1		2				1						88,993
56 "	14					3		1			2		4				1		3				95,623
57 "	12					2	1	3					3		1		2						109,669
58 "	14					3		1		2			4	1			1		2				117,335
59 "	16					3	2						4		1		3		3				128,077
60 "	15		1			3	2	2					3	1			1		2				131,292
61 "	(1)19	1	1			2	(1)1	1					6		1		3		3				129,561
62 "	(1)20		1			5	3			1		(1)7	1				1				1		177,173
63 "	13		3		1	1	2						3		1		1		1				151,796
元 "	(1)19		1			3	5	1					4	1			3	1	(1)				166,345
2 "	8		1			1	1						2		1		1		1				174,561
3 "	10		1			1	1	1					1				1	2	2				139,548
合 計	(3)216	1	10		3	44	(1)20	14	3		15		(1)48	4	5		22	3	(1)22		2		1,924,380

(注) カッコは国際機関協力費で外数である。

青年招へい事業

年度	分野	人的資源	その他	合計(人数)	経費実績 (千円)
59年度					
60 "					
61 "					
62 "					397
63 "		4		4	10,378
元 "		5		5	8,189
2 "		3		3	6,260
3 "		5		5	9,400

西サモア

[一般の技術協力に係る機材供与]

単独機材供与事業

No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機材供与経費 (千円)	
				機材	経費
1	教育振興用機材	教育省	61		4,235
2	通信用機材	郵政省西サモア通信部	2		31,481
計	2 件				35,716

[プロジェクト方式技術協力]

保健医療協力事業（単発専門家）

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人 数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
ナショナルホスピタル		55					1	1,206		① 1,187 16,255	18,648	
		56					1	1,006			1,006	
感染症対策		62						1,994			1,994	

保健医療協力事業（特別機材供与）

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人 数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
感染症		元							輸送費、車輛	12,139	12,139	
		2							車輛	4,393	4,393	

[開発調査方式技術協力]

開発調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	教育開発計画基本設計 調査	同国の最高学府であるアベレ国立中等学校、バイブリ国立中等学校並びにサレロ ロカ図書館の建設に関する調査を実施し基本計画書を作成した。	55	特	55. 9. 29～55. 10. 24	5	18,130
			56	特	(報告書送付)		27

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
2	アピア漁港整備計画基本設計調査	同国政府は国内の水産物の生産と消費の増大に対処するため、流通機構整備の一環として大消費地であるアピアの漁港整備拡張計画を立案し、わが国に無償資金協力を要請してきた。これに応じて、わが国は55年11月基本設計調査団を派遣し相手国政府関係機関と協議し、建設に必要な現地調査を行い、アピア漁港整備拡張の基本計画書を作成した。	55	特	55. 11. 1~55. 11. 30	7	(11,396)
			"	特	(報告書送付)		(11)
3	診療所再建整備計画	ウボル島レウルモエガおよびサバイ島サタウア地区における診療所再建整備計画に係る基本設計調査を実施した。	57	特	58. 1. 17~58. 2. 6	6	} 12,103
			"	特	58. 3. 29~58. 4. 10	5	
			58		(国内作業)		11,227
4	無償案件評価調査	(ソロモン、西サモア、トゥヴァル) オセアニア一般を参照のこと。	57	評価	58. 2. 20~58. 3. 5	(3)	(1,074)
5	国内輸送力増強計画	主要な2島の交通手段である海上輸送の増強をはかるためムリファヌ港の施設の建設及び岸壁の補修に係る基本設計調査を実施した。	59	特	59. 7. 15~59. 8. 11	8	} 37,614
			"	特	59. 11. 11~59. 11. 21	5	
6	アピア空港ターミナル建設計画	海外輸送力を増強するためのアピア空港の拡張の一環としてターミナルビルの改修及び新ターミナルビルの建設に係る基本設計調査を実施した。	59	特	60. 3. 23~60. 4. 17	8	3,328
			60	特	60. 6. 12~60. 6. 23	4	32,815
7	大洋州経済技術協力調査	(フィジー、西サモア) オセアニア一般を参照のこと。	60	形成基礎	60. 8. 12~60. 8. 19	(3)	(1,137)
8	全国港湾整備総合計画調査	西サモアのアピア港他4つの港湾を対象とするM/PとF/Sを実施するものであり、昭和61年度は事前調査を実施し、現地本格調査を開始した。 昭和62年度は、現地調査を行ったのち、最終報告書を作成、提出した。	61	事前調査	61. 7. 28~61. 8. 10	5	} 65,115
			61	実施調査	62. 1. 21~62. 3. 25	9	
			62	"	62. 6. 14~62. 7. 15	7	26,652
9	南太平洋経済技術協力調査(プロジェクト選定確認)	昭和61年度は、わが国の経済技術協力を効果的に実施するため、これまであまり協力の実績のなかったこれらの国々に対して、わが国の経済技術協力の仕組みを説明するとともに、優良案件の発掘を行い、また先方政府との対話を通じて今後のわが国の協力の方向を探ることを目的とした調査を実施した。 昭和62年度は、環太平洋地域における電気通信分野の協力に関し、南太平洋経済協力機関事務局(SPEC)のSPTDP(南太平洋電気通信開発計画)をもとにSPEC及び関係機関と政策対話を行い、各国の電気通信施設及び開発計画の現状	61	基礎調査	62. 3. 25~62. 4. 6	(5)	985
			62	"	63. 3. 12~63. 3. 28	(8)	2,454

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		の調査結果を取りまとめ、同地域に対する中期援助指針を作成した。 (フィジー、西サモア、ヴァヌアツ、キリバス)					
10	経済技術協力評価調査	学識経験者等第三者(岐阜敬治日本経済新聞編集局長)の参加を得て、フィジー、トンガ、西サモアにおける経済技術協力案件8件について評価調査を行うとともに、派遣専門家、青年海外協力隊員との意見交換を行うことにより、広く3ヵ国に対するわが国の経済技術協力に関する有識者からの提言を取りまとめた。 (漁業振興計画、漁港整備計画、教育振興計画、診療所再建計画)	61	評価調査	61. 11. 16~61. 11. 25	(3)	1,000

〔無償資金協力〕

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額(億円)	調査年度	調査種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	漁業振興計画	わが国は、52年度、西サモアの漁業資源の有効利用および漁業の近代化を目的とした漁業振興計画につき、1.5億円の無償援助を実施した。53年度は引き続き、前記の計画の実施に必要な水産センターの建設および追加機材の供与を行った。	53. 8. 25	4					
2	漁港整備計画	漁業分野における生産消費の増大に対処すべく、流通機構整備の一環として、アピアでの漁業整備拡張工事を実施した。	56. 3. 24	6	55	基本設計	55. 11. 1~55. 11. 30	7	開発調査
					元	実施促進	元. 10. 30~元. 11. 8	2	1,429
3	教育振興計画	(I)農業、職業訓練に重点を置いた中等教育の強化・拡充を図るためパイブリ、アベレ両校の施設増設及び機材の供与を行った。 (II)サバイ島住民の教育振興をはかるため同島に小規模の図書館を建設した。	56. 1. 20	2	55	基本設計	55. 9. 29~55. 10. 24	5	開発調査
			56. 9. 9	1. 10	60	フォローアップ	60. 11. 18~60. 12. 7	(2)	521

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)		
4	診療所再建計画	レウルモエガおよびサタウァ地区の未整備な診療所を再建し、医療機材を整備した。	58. 4. 11	5. 70	57	基本設計	58. 1. 17~58. 2. 6	6	} 開発調査 7,925		
					"	" (報)	58. 3. 29~58. 4. 10	5			
					58	実施促進	59. 2. 25~59. 3. 9	(1)		(408)	
					3	フォローアップ	3. 10. 13~4. 3. 26	2			
"	"	4. 3. 2~4. 3. 29	2								
5	国内輸送力増強計画	ムリファヌア港およびサレロロガ港のターミナルビル、岸壁の補修、船回し場等港湾施設の改良と航路の浚渫を行った。	60. 2. 28	3. 90	59	基本設計	59. 7. 15~59. 8. 11	8	} 開発調査		
					"	" (報)	59. 11. 11~59. 11. 21	5			
6	フェレオロ空港ターミナル建設計画	海外輸送力を増強するための空港拡張の一環としてターミナルビルの改修及び新ターミナルビルの建設。	60. 9. 26	6. 63	59	基本設計	60. 3. 23~60. 4. 17	8	} 開発調査		
					61. 8. 26	60	"	60. 6. 12~60. 6. 23		4	
					"	フォローアップ	60. 11. 18~60. 12. 7	(2)		521	
					61	実施促進	62. 1. 12~62. 1. 22	(2)		1,245	
62	評価調査	62. 11. 9~62. 11. 18	3	2,591							
7	フェリーボート建設計画	ウボル島とサバイ島間の車輛、物質、人の輸送力拡充のため、フェリーボート、船舶維持管理用機材の供与	62. 10. 9	6. 73	61	基本設計(本)	61. 12. 9~61. 12. 27	5	10,062		
					62	"			11,744		
					3	フォローアップ (修理用機材)			11,221		
8	食糧増産計画	平成2年2月のサイクロンにより主要穀物自給率の低迷し、同自給率復旧のため農業資機材の調達計画。これに必要な資金の供与。	61. 12. 24	2	61	実施促進	62. 1. 12~62. 1. 22	(2)	1,245		
					2. 10. 23	1. 84	2	"	2. 12. 7~2. 12. 18	3	} 4,892
					4. 4. 14	1. 50	"	"	3. 1. 14~3. 1. 21	1	
9	アピア港整備計画	主要港であるアピア港をマスタープランにのっとり、同国の開発に伴う需要に対応できるように整備を行う。	63. 10. 28	6. 90	62	基本設計(本)	63. 3. 28~63. 4. 24	6	3,409		
					元. 6. 28	9. 13	63	" (報)	63. 6. 25~63. 7. 4	4	27,140
10	地方電化計画	西サモアのUpolu島とSavaii島について、余剰電力を利用して、島内の未電化地域に送配電するための新設電線網を整備するために必要な資金の供与計画。			元	基本設計(事)	元. 6. 12~元. 6. 27	3	} 33,409		
					"	" (本)	元. 10. 9~元. 11. 11	5			
					3	基本設計(本)	3. 10. 8~3. 11. 1	2	} 8,428		
					"	" (報)	4. 3. 23~4. 4. 3	2			

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		平成3年度は、補足調査を行った。							
11	その他海外事務所執行分				2				300
12	港湾災害復旧計画	アピア港、ムリファヌア港等のサイクロン被害復旧整備及び復旧のための建設資材供給(碎石)プラント建設を行う計画。これに必要な資金の供与。 平成2年度は、基本設計調査を行い、最終報告書を提出した。	2.11.26	4.90	2	基本設計(本)	2.6.12~2.7.21	7	42,599
			4.7.25	6.87	"	"(報)	2.9.16~2.9.24	4	

〔災害援助等協力事業〕

国際緊急援助隊派遣

年度	災害区分	災害発生時期	災害の規模	派遣の目的	派遣期間	チームの構成	救援物資	所要経費 (千円)
元	サイクロン	平成2年2月1日 ~4日	死者 10人 家屋喪失者 25,000人 損壊・倒壊家屋 3,000戸	①被災状況の把握 ②援助物資の供与 ③援助ニーズの調査	2月18日~2月25日	業務調整員 1名	発電機、浄水器、簡易水槽、トランシーバー、コードリール	3,430
3	サイクロン	平成3年12月6日 ~	死者 12人 被災者 約17万人		物資供与時期 平成3年12月		ポリタンク、簡易水槽	2,432

米領太平洋諸島

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経費 (千円)	人数 (人)														
研 修 員				1,079	1	1,306	2					1,253	2			3,638	5
専 門 家																	
調 査 団									1		1		1				3
協 力 隊																	
機 材 供 与																	
そ の 他																	
合 計				1,079	1	1,306	2		1		1	1,253	3			3,638	8

米領太平洋諸島

(2) 形態別・分野別

形態	分野	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)		
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
研 修 員		5																						3,638	
専 門 家																									
調 査 団		3																	3						
協 力 隊																									
機 材 供 与																									
そ の 他																									
合 計		8																	3						3,638

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 米領太平洋諸島	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 買 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
61年度	1										1											1,079
62 "	2										2											1,306
63 "																						
元 "																						
2 "	2										2											1,253
合 計	5										5											3,638

オセアニア一般

〔プロジェクト方式技術協力〕

農林水産協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
フィジー、マーシャル群島、ミクロネシア、バブア・ニューギニア、ソロモン諸島、南太平洋農林水産業協力プロジェクト・ファインディング	南太平洋地域の林業および水産資源は豊富にありながら放置されており、これら資源の有効利用を図るために必要な技術協力を非公式ながら要請してきた5カ国について、プロジェクト協力の可能性を検討し、その内容を確認するため、林業および水産の2班に分けて調査団を派遣した。この結果、フィジー木材伐採搬出とソロモン造林の両案件については、ローカルコスト不足等から不相当と判断されたが、バブア・ニューギニアについては無償で建設が計画されている森林研究所ができれば熱帯低地林の研究協力案件として有望と報告された。また、水産案件については、ミクロネシア連邦ボナベ島に総合漁業訓練開発センター協力が有望と報告された。マーシャル群島においては、進行中の漁業基地開発関連の協力が要請された。	57	事前調査	57. 11. 13～ 57. 11. 28	3	} 4,951					4,951	
		"	事前調査	57. 12. 13～ 57. 12. 24	2							
		58	(同上報告書作成)				④ 471					
フィジー、トンガ、タヒチ大洋州水産開発		63	基礎調査	元 4. 3～ 元 4. 30	(8)	2,190					2,190	

区分不能(オセアニア)

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

区分不能
(オセアニア)

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	ミクロネシア、マーシャル群島経済技術協力調査	ミクロネシア、マーシャル群島は1981年にアメリカの信託統治を終了した。従来、これら地域に対するわが国の協力実績は少なかったが、今後、わが国の経済・技術協力を推進するにあたって、わが国の経済・技術協力のシステムの説明を行うとともに協力案件の発掘を行った。	55	事前調査	55. 6. 12~55. 6. 27	6	2,205
2	バブア・ニューギニア、ヴァヌアツ、フィジー経済技術協力調査	バブア・ニューギニア、ヴァヌアツ、フィジーの三国に対し、わが国の経済・技術協力を推進するにあたって、わが国の経済・技術協力のシステムの説明を行うとともに協力案件の発掘を行った。	57	事前調査	58. 2. 18~58. 3. 2	5	3,887
3	ソロモン諸島、西サモア、トゥヴァル無償案件評価調査	既に水産無償を実施しているソロモン・西サモア・トゥヴァルにおいて案件の適正度、社会的、経済的、技術的効果、技術協力との関係、供与後の管理運営状況等の項目について評価調査を実施した。 調査対象案件 1. ソロモン：漁業振興計画（昭和55年度実施）、沿岸漁業振興計画（昭和53年度実施） 2. 西サモア：漁業振興計画（昭和53年、昭和55年度実施） 3. トゥヴァル：漁業開発計画（昭和55年度実施）	57	評 価	58. 2. 20~58. 3. 5	3	3,221
4	フィジー、トゥヴァル水産資源調査	フィジー水産資源調査を参照のこと。	60	実施調査	60. 8. 12~61. 4. 5	9	155,122
5	大洋州経済技術協力調査	フィジー及び西サモア両国に対して、わが国の経済技術協力の仕組みを説明するとともに、先方政府との協議を通じ、両国に対するわが国の協力の方向を探り、優良案件の発掘に努めた。	60	形成基礎	60. 8. 12~60. 8. 19	3	2,307

資源開発協力基礎調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	南太平洋沿岸海域海洋資源調査	南太平洋海域は、マンガン団塊賦存密度の高い海域として知られている。本調査は調査船第2白嶺丸を使用し、当該海域のマンガン団塊賦存状況を把握することを目的とする。 昭和61年度は、5カ年計画のうち第2年次調査として、クック諸島海域において、サンプリング調査(180点)、音響探査(4,187km)、海底観察調査(181km)を実施し、平均密度7.5kg/m ³ 以上の海域であることを把握した。平均品位はニッケル0.24%、銅0.14%、コバルト0.47%である。 (キリバス、トゥヴァル、クック諸島、西サモア)	61	資	61. 7. 16~61. 7. 23	2	281,379
			62	"	62. 8. 29~62. 10. 27	18	344,908
			2	"	2. 8. 16~ 2. 10. 28	20	227,083

区分不能(オセアニア)

〔無償資金協力〕

実施促進調査

No	対 象 案 件 名	概 要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	キリバス漁業振興計画 フィジー漁業振興計画		54	55. 2. 19~55. 3. 5	2	1,492
2	フィジー漁業振興計画 トンガ小学校建設計画		55	55. 10. 27~55. 11. 9	2	1,437
3	フィジー地下水開発計画 トゥヴァル漁業開発計画		56	56. 5. 25~56. 6. 4	2	1,681
4	パラオ小規模漁業振興計画 ミクロネシア伝統漁業改善計画 ヴァヌアツ漁業開発計画		57	57. 5. 21~57. 6. 6	2	1,818
5	ソロモン諸島漁業振興計画 トンガ伝統漁業改善計画 キリバス漁業振興計画		57	57. 11. 2~57. 11. 16	2	1,937

区分不能（オセアニア）

No	プロジェクト名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
6	バラオココナツ農業振興計画		57	58. 3. 7~58. 3. 19	1	653
	ミクロネシア地方道、農道整備計画					
7	ソロモン諸島漁業開発計画		58	59. 2. 25~59. 3. 9	1	816
	西サモア診療所建設計画					
8	ソロモン諸島漁業訓練計画		59	59. 5. 10~59. 5. 23	2	1,814
	フィジー漁業振興計画					
9	マーシャル群島漁業基地整備計画		59	60. 3. 5~60. 3. 11	1	537
	ソロモン諸島漁業訓練計画					
10	フィジー看護学校建設計画（フォローアップ）		60	60. 11. 18~60. 12. 7	2	2,084
	西サモア輸送力増強計画、教育振興計画					
11	ソロモン諸島医療用輸送機材整備計画		60	61. 3. 1~61. 3. 9	1	882
	バブア・ニューギニアソグリ高校日本語教室建設計画					

ヨーロッパ地域等

アルバニア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経費 (千円)	人数 (人)														
研 修 員												5,590	1	14,936	4	20,526	5
専 門 家																	
調 査 団																	
協 力 隊																	
機 材 供 与																	
そ の 他																	
合 計												5,590	1	14,936	4	20,526	5

アルバニア

(2) 形態別・分野別

分野 形態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)		
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
研 修 員	5				2								3										20,526	
専 門 家																								
調 査 団																								
協 力 隊																								
機 材 供 与																								
そ の 他																								
合 計	5				2								3											20,526

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 アルパニア	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
2年度	1				1																	5,590
3 "	4				1							3										14,936
合 計	5				2							3										20,526

オーストリア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び 人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)												
研 修 員			(2)														(2)
専 門 家		23,449	(2)						1			1,017	(2)	233	(2) ₁	24,699	(6) ₂
調 査 団		1,735														1,735	
協 力 隊																	
機 材 供 与																	
そ の 他																	
合 計		25,184	(4)						1			1,017	(2)	233	(2) ₁	26,434	(8) ₂

オーストリア

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員	(2)		(1)		(1)																		
専 門 家	(6) ₂				(4)								(1)							2	(1)		24,699
調 査 団																							1,735
協 力 隊																							
機 材 供 与																							
そ の 他																							
合 計	(8) ₂		(1)		(5)							(1)								2	(1)		26,434

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

オーストリア

分野	合計	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
29～47年度	(2)		(1)		(1)																	
合計	(2)		(1)		(1)																	

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野	合計	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化					
29～47年度																							632
48 "	(2)												(1)										2,528
49 "																							10,941
50 "																							9,348
51 "																							
52 "																							
53 "																							
54 "																							
55 "																							
56 "																							
57 "																							

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
58年度																							
59 "																							
60 "																							
61 "																							
62 "																							
63 "																							
元 "																							
2 "	(2)				(2)																		
3 "	(2)				(2)																		233
合計	(6)				(4)							(1)										(1)	23,682

(注) カッコは国際機関専門家以外数である。

[災害援助等協力事業]

専門家派遣

オーストリア

年度	災 害 名	期 間	人 数	経 費 実 績 (千円)
2	国際捜査救助検討会議	3. 4. 6~3. 4. 15	3	1,017

ベルギー

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び 人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)														
研 修 員																	
専 門 家												1,135	1			1,135	1
調 査 団																	
協 力 隊																	
機 材 供 与																	
そ の 他																	
合 計												1,135	1			1,135	1

ベルギー

(2) 形態別・分野別

形 態	分 野	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員																								
専 門 家		1																				1		1,135
調 査 団																								
協 力 隊																								
機 材 供 与																								
そ の 他																								
合 計		1																				1		1,135

2. 事業別実績

[災害援助等協力事業]

専門家派遣

ベルギー	年度	災 害 名	期 間	人 数	経 費 実 績 (千円)
	2	災害援助会議	2. 6.30～2. 7.15	1	1,135

ブルガリア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経費 (千円)	人数 (人)														
研 修 員		10,429	(30)											111,077	(1) 38	121,506	(31) 38
専 門 家													1,184	15,701	6	16,885	6
調 査 団													498	24,654	12	25,152	12
協 力 隊																	
機 材 供 与														2,638		2,638	
そ の 他																	
合 計		10,429	(30)										1,682	154,070	(1) 56	166,181	(31) 56

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	(31) 38		8		(8)		(1) 5	5					(18) 8	(4)	7				5			121,506
専 門 家	6		5												1							16,885
調 査 団	12												9						2	1		25,152
協 力 隊																						
機 材 供 与																						2,638
そ の 他																						
合 計	(31) 56		13		(8)		(1) 5	5					(18) 17	(4)	8				7	1		166,181

※ カッコは国際機関で外数である。

ブルガリア

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

ブルガリア	分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
			開発 計画 数	行政 数	公益 事業	運輸 交通	社会 基盤	通信・ 放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業・ 貿易	観 光	人 的 資 源	科 学・ 文 化				
	29~ 47年度	(4)												(4)									1,017
	48 "																						
	49 "	(7)				(7)																	1,085
	50 "	(7)											(7)										5,167
	51 "	(6)				(1)			(1)				(4)										1,986
	52 "	(6)											(6)										1,174
	53 "																						
	54 "																						
	55 "																						
	56 "																						
	57 "																						
	58 "																						
	59 "																						
	60 "																						
	61 "																						
	62 "																						
	63 "																						
	元 "																						
	2 "																						
	3 "	(1)38		8				5	5				(1)8		7					5			112,553
	合計	(31)38		8		(8)		(1)5	5				(18)8	(4)	7				5				122,982

(注) カッコ内は国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
3年度	6		5												1							18,339
合計	6		5												1							18,339

ブルガリア

青年海外協力隊派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
3年度																						995
合計																						995

[プロジェクト方式技術協力]

保健医療協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
医療協力計画		2						1,184			1,184	
医療特別機材実施計画 策定調査		3	機材 実施計画	4. 1. 8~ 4. 1. 17	2	4,155					4,155	

ブルガリア

[開発調査方式技術協力]

海外開発計画調査事業

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	鉱工業プロジェクト選 定確認	(ブルガリア, チェッコ・スロヴァキア, ユーゴスラヴィア, ルーマニア)	2	海	2. 5. 19~2. 6. 4	(1)	498
2	省エネルギー計画	本調査は、ブルガリア国内の5産業(ガラス, 食品, 化学, パルプ, 繊維)の代表的工場を診断することにより、同国における省エネルギーについての現状を把握し、最終的な省エネルギー計画についての提言を行う。 平成3年度は、予備調査により工場、業種の選定を行い、事前調査団により実施細則(S/W)の締結を行った。	3	海(予備)	3. 10. 1~3. 10. 12	4	10,116
			"	海	4. 2. 24~4. 3. 4	5	
3	鉱工業プロジェクト選 定確認	(ブルガリア, チェッコ・スロヴァキア)	3	海	3. 4. 7~3. 4. 21	8	2,661

[援助効率促進事業]

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	プロジェクト形成調査	(ブルガリア, ルーマニア)	3	プロジェクト 形成調査	3. 8. 5~3. 10. 8	4	5,251

カナダ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員	7,744	(1) 3	1,591	4	2,900	1		2		3		7		7	12,235	(1) 27
専 門 家									6,705			1	1,402	2	8,107	3
調 査 団	1,924	1			1,096		6,312			1					9,332	2
移 住 者	31,647	5,072		18	2,181	35		16		10		7		10	33,828	5,168
機 材 供 与																
そ の 他	62,291		6,115		15,567										83,973	
合 計	103,606	(1) 5,076	7,706	22	21,744	36	6,312	18	6,705	14		15	1,402	19	147,475	(1) 5,200

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉄 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	(1) 27												(1)				25			2		12,235
専 門 家	3																1			2		8,107
調 査 団	2																				2	9,332
移 住 者	5,168		52	5	2	15	50	31	1				132	2	31	8	11	4	29	1	4,794	33,828
機 材 供 与																						
そ の 他																						83,973
合 計	(1) 5,200		52	5	2	15	50	31	1				(1) 132	2	31	8	37	4	29	5	4,796	147,475

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

カ ナ ダ	分野	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
	20～ 47年度	(1)											(1)											
	48 "																							
	49 "																							
	50 "																							
	51 "																							
	52 "																							
	53 "																							
	54 "																							
	55 "																							
	56 "																							
	57 "																							
	58 "																							
	59 "																							
	60 "																							
	61 "	2																				2		202
	合計	(1)2											(1)									2		202

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

[プロジェクト方式技術協力]

保健医療協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
国際開発庁		元							1,829		1,829	

カナダ

農林水産協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
大規模森林回復技術調査		63	基礎調査	63. 7. 26～ 63. 8. 8	(5)	6,312					6,312	

[開発調査方式技術協力]

開発調査事業

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	援助機関におけるコンサルタント契約実態調査		62				1,096

[災害援助等協力事業]

専門家派遣

年度	災害名	期間	人数	経費実績 (千円)
元	エマージェンシーヘルスケア会議	元. 8. 14～元. 8. 20	2	1,621
"	サンフランシスコ地震災害	元. 10. 19～元. 10. 24	1	645
"	ワシントン備番打合	元. 11. 26～元. 12. 2	1	2,610
"	"	2. 1. 21～2. 2. 1	1	
"	"	2. 3. 4～2. 3. 11	1	

カナダ

年度	災 害 名	期 間	人 数	経 費 実 績 (千円)
3	カナダ災害援助等協力専門家派遣	3. 5. 12~3. 5. 18	2	1,402

サイブラス

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 及び 形態	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)														
研 修 員	8,157	(2) 7			329	(2) 1	3,575	2	8,420	3	2,467	3	5,699	2	28,647	(4) 18
専 門 家																
調 査 団																
協 力 隊								(1)								(1)
機 材 供 与																
そ の 他																
合 計	8,157	(2) 7			329	(2) 1	3,575	(1) 2	8,420	3	2,467	3	5,699	2	28,647	(5) 18

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	(4) 18		(1) 6	2	1		2	1				1		(2) 1		1	1	1	1	(1)	28,647	
専 門 家																						
調 査 団																						
協 力 隊	(1)									(1)												
機 材 供 与																						
そ の 他																						
合 計	(5) 18		(1) 6	2	1		2	1		(1)		1		(2) 1		1	1	1	1	(1)	28,647	

※ カッコは国際機関で外数である。

サイブラス

2. 事業別実績

(一般の技術協力)

研修員受入事業

サイ ブ ラ ス	分野	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
46年度		1						1															580
47 "		1						1															767
48 "		(1)2				1			1														(1) 2,431
49 "		1																		1			1,400
50 "																							
51 "																							632
52 "																							
53 "																							
54 "		1														1							1,095
55 "																							
56 "																							
57 "																							
58 "		1		1																			1,252
59 "																							
60 "		(1)		(1)																			
61 "																							
62 "		(2)1		1												(2)							329
63 "		2		1	1																		3,575
元 "		3		1	1								1										8,420
2 "		3		2																	1		2,467
3 "		2																1	1				5,699
合 計		(4)18		(1)6	2	1		2	1				1		(2)1		1	1	1	1	(1)	28,647	

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

青年海外協力隊派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
63年度	(1)										(1)											
合計	(1)										(1)											

サイプラス

(注) カッコは国際機関協力隊で外数である。

チェッコ・スロヴァキア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	年度 経費及び人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経費 (千円)	人数 (人)														
研 修 員		24,962	(41)									4,711	6	204,467	68	234,140	(41) 74
専 門 家												1,184		1,596		2,780	
調 査 団												498		22,500	5	22,998	5
協 力 隊																	
機 材 供 与																	
そ の 他																	
合 計		24,962	(41)									6,393	6	228,563	73	259,918	(41) 79

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

形態	分 野 人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	(41) 74	6	(2) 16		2	(1)	(5)						(19) 1	(11)	21		(3)		28			234,140
専 門 家																						2,780
調 査 団	5													5								22,998
協 力 隊																						
機 材 供 与																						
そ の 他																						
合 計	(41) 79	6	(2) 16		2	(1)	(5)						(19) 1	(11) 5	21		(3)		28			259,918

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

[一般の技術協力]

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
29~ 47年度	(10)											(1)	(9)									11,106
48 "	(1)											(1)										876
49 "	(3)												(1)			(2)						1,513
50 "	(4)						(1)					(2)	(1)									3,935
51 "	(3)		(2)									(1)										1,173
52 "	(13)						(1)					(12)										2,494
53 "	(2)					(1)						(1)										2,818
54 "	(2)											(1)				(1)						1,047
55 "																						
56 "																						
57 "	(1)						(1)															
58 "	(2)						(2)															
59 "																						
60 "																						
61 "																						
62 "																						
63 "																						
元 "																						
2 "	6	6																				4,711
3 "	68		16		2							1		21				28				205,943
合計	(41)74	8	(2)16		2	(1)	(5)					(19)1	(11)	21		(3)		28				235,616

チエッコ・スロヴァキア

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
年度																						1,596
3年度																						1,596
合計																						

チエッコ・スロヴァキア

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
医療協力計画		2						1,184			1,184	

チェッコ・スロヴァキア

〔開発調査方式技術協力〕

海外開発計画調査事業

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	鉱工業プロジェクト選 定確認	(ブルガリア, チェッコ・スロヴァキア, ユーゴスラヴィア, ルーマニア)	2	海	2. 5. 19~2. 6. 4	(1)	498
2	メルニーク発電所排煙 脱硫対策	チェッコ・スロヴァキアでは現在の厳しい環境問題に早急な対策を講じる必要に 迫られている現状であることを踏まえ、プラハの北40kmに位置するメルニーク石炭 火力発電所の第二発電所(110MW×4 Units)及び第三発電所(500MW×1 Unit)へ の排煙脱硫対策に関する技術的・経済的フィージビリティを検討し、その最適計画 を策定する。 あわせて、本格調査の実施並びに排煙脱硫処理技術等のセミナーの開催の通じ て、チェッコ・スロヴァキア側のカウンターパートへの当該技術の移転を図る。 平成3年度は、プロジェクトの形成基礎調査団及び実施細則(S/W)の署名を 目的とした事前調査団を派遣するとともに、適用される脱硫技術の選定のための初 期調査を実施した。	3	海	3. 12. 9~3. 12. 20	5	14,219
3	鉱工業プロジェクト選 定確認	(ブルガリア, チェッコ・スロヴァキア)	3	海	3. 4. 7~3. 4. 21	(8)	2,661
4	鉱工業プロジェクト形 成基礎調査		3	海	3. 9. 2~3. 9. 14	7	4,144

デンマーク

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)														
研 修 員																
専 門 家									1,743							1,743
調 査 団	1,476															1,476
協 力 隊																
機 材 供 与																
そ の 他																
合 計	1,476								1,743							3,219

(2) 形態別・分野別

形態	分 野 人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)		
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
研 修 員																								
専 門 家																								1,743
調 査 団																								1,476
協 力 隊																								
機 材 供 与																								
そ の 他																								
合 計																								3,219

2. 事業別実績

[災害援助等協力事業]

専門家派遣

年度	災 害 名	期 間	人 数	経 費 実 績 (千円)
元	ユニセフ及びアフガン難民支援	2. 1.14~2. 1.21	2	1,743

デンマーク

フィンランド

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)														
研 修 員		(1)														(1)
専 門 家																
調 査 団																
協 力 隊																
機 材 供 与																
そ の 他																
合 計		(1)														(1)

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

形態	分 野 人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)		
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
研 修 員	(1)																							
専 門 家																								
調 査 団																								
協 力 隊																								
機 材 供 与																								
そ の 他																								
合 計	(1)																							

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
29～47年度	(1)									(1)												
合計	(1)									(1)												

フィンランド

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

フランス

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)														
研 修 員		1														1
専 門 家	1,360	(1)	1,347		664	2			4,271		6,643	10	3,268	5	17,553	(1) 17
調 査 団	15,057	6	7,046		18,492	3	19,310		5,595		30,063	14	29,067	11	124,630	34
協 力 隊											56,487		26,542		83,029	
機 材 供 与	23														23	
そ の 他	2,052				1,042										3,094	
合 計	18,492	(1) 7	8,393		20,198	5	19,310		9,866		93,193	24	58,877	16	228,329	(1) 52

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

形態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員	1																	1					
専 門 家	(1) 17				7													(1) 2		8			17,553
調 査 団	34	2						1											3		28		124,630
協 力 隊																							83,029
機 材 供 与																							23
そ の 他																							3,094
合 計	(1) 52	2			7			1										(1) 3		11		28	228,329

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
29～47年度	1																1					
48 "																						
49 "																						
50 "																						
51 "																						
52 "																						
53 "																						
54 "																						
55 "																						
56 "																						
57 "																						
58 "																						
59 "																						
60 "																						
61 "																						2,703
合計	1																1					2,703

フランス

専門家派遣事業

分野 フランス	年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
			開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
	29～ 47年度	(1)																(1)					1,210
	48 "																						
	49 "																						
	50 "																						
	51 "																						
	52 "																						
	53 "																						
	54 "																						
	55 "																						
	56 "																						
	57 "																						
	58 "																						
	59 "																						
	60 "																						
	61 "																						
	62 "																						
	63 "																						
	元 "																						
	2 "																						6,643
	3 "																						3,268
	合計	(1)																(1)					11,121

(注) カッコには国際機関専門家以外数である。

青年海外協力隊派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
58年度																						402
59 "																						1,607
60 "																						2,418
61 "																						3,582
62 "																						5,534
63 "																						3,670
元 "																						806
2 "																						57,123
3 "																						29,449
合計																						104,591

フランス

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

フランス

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
半乾燥地域薪炭林造成		62				7,675					7,675	
協力開発庁		元						1,825			1,825	

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	都市交通計画における 軌道系交通システム導 入研究		62				4,431
2	援助機関におけるコン サルタント契約実態調 査		62				852

〔無償資金協力〕

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	中近東・アフリカ地域無償 資金協力業務セミナー				63	実施促進	63. 7. 10~63. 7. 21	(7)	15,640
					元	〃	元. 6. 18~元. 6. 29	(8)	4,789
					2	〃	2. 5. 15~2. 5. 25	10	24,858
					3	〃	3. 5. 22~3. 5. 31	10	26,160
2	その他海外事務所執行分				2				3,420

[災害援助等協力事業]

専門家派遣

年度	災 害 名	期 間	人 数	経 費 実 績 (千円)
61	救援システム等実態調査	61. 6. 14~61. 6. 22	(3)	1,347
62	備蓄基地調査	63. 1. 16~63. 1. 27	(3)	664
元	国際緊急援助体制調査・説明	元. 9. 20~元. 9. 28	(5)	2,446

フランス

ドイツ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

ドイツ	経費及び人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累計	
		経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)
	研修員		(1) ₁														(1) ₁
	専門家											1,825					1,825
	調査団	1,873				5,281		5,307									12,461
	協力隊																
	機材供与																
	その他																
	合計	1,873	(1) ₁			5,281		5,307				1,825					14,286 (1) ₁

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

形態	分野	人数累計(人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計(千円)	
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化					
	研修員	(1) ₁				(1)								1										
	専門家																							1,825
	調査団																							12,461
	協力隊																							
	機材供与																							
	その他																							
	合計	(1) ₁				(1)								1										14,286

※ カッコは国際機関で外数である。